



花の精 2

絶対
知られたくない
毎日の
②

Please do not share
with any third party.
(第三者へ共有しないでください)





全く現実味ないが

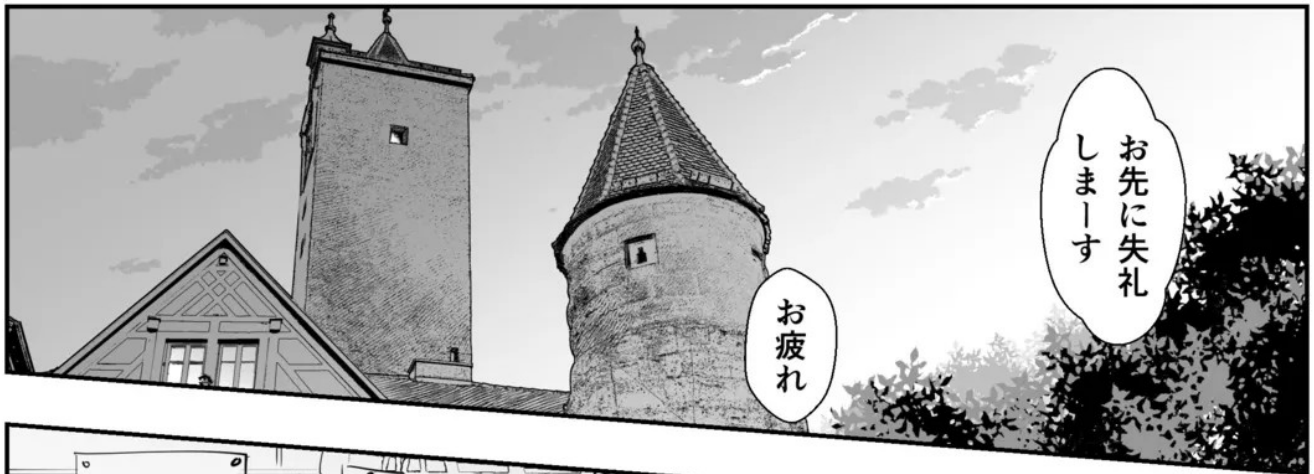
隊長と夜を共に
してしまったのは
事実らしい

なぜなら





妄想の精度が上がった…



お先に失礼
します

お疲れ



夜番に任せて
私たちも上がるう



一度
知ってしまったら



あれから
上手く時間が合わず

普段通りに
過ごしているが



ちょっと
いいか



はい

急で悪いが
君の来月の休み

私と同じ
連休になるよう
調整できるか？

します



泊りでイチャイチャして
もらえるんだろうか…？

助かる
この日実家に
家族が集まるから
報告をしたい

…順番が逆に
なってしまったが



私と結婚してほしい！



私はもう君しか
考えられないから

性急とは思いますが
話を進めてしまいたい



なんだって？

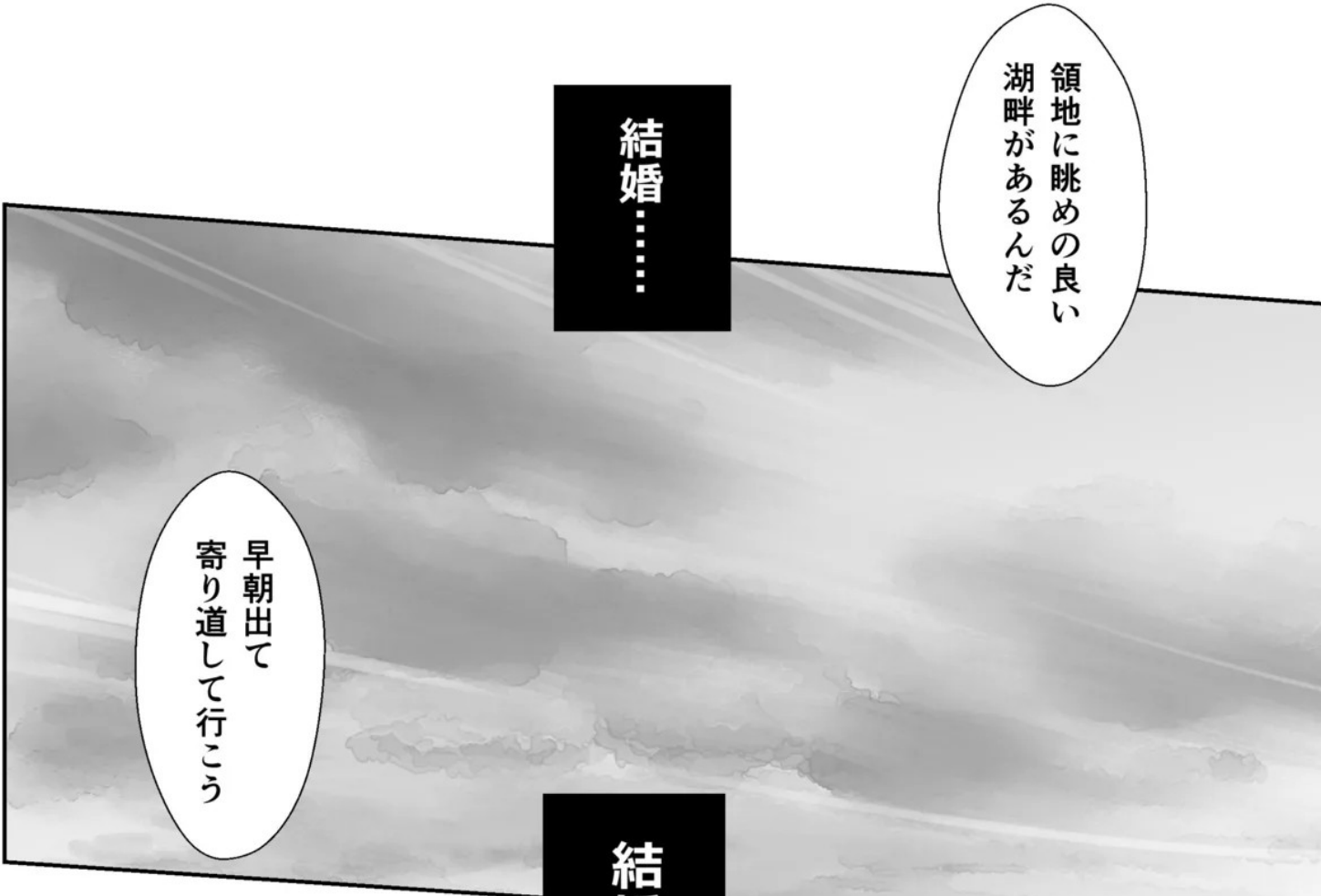
私と結婚

聞こえてる



感謝する！

…了解した



結婚……

領地に眺めの良い湖畔があるんだ

早朝出て
寄り道して行こう

結婚!?



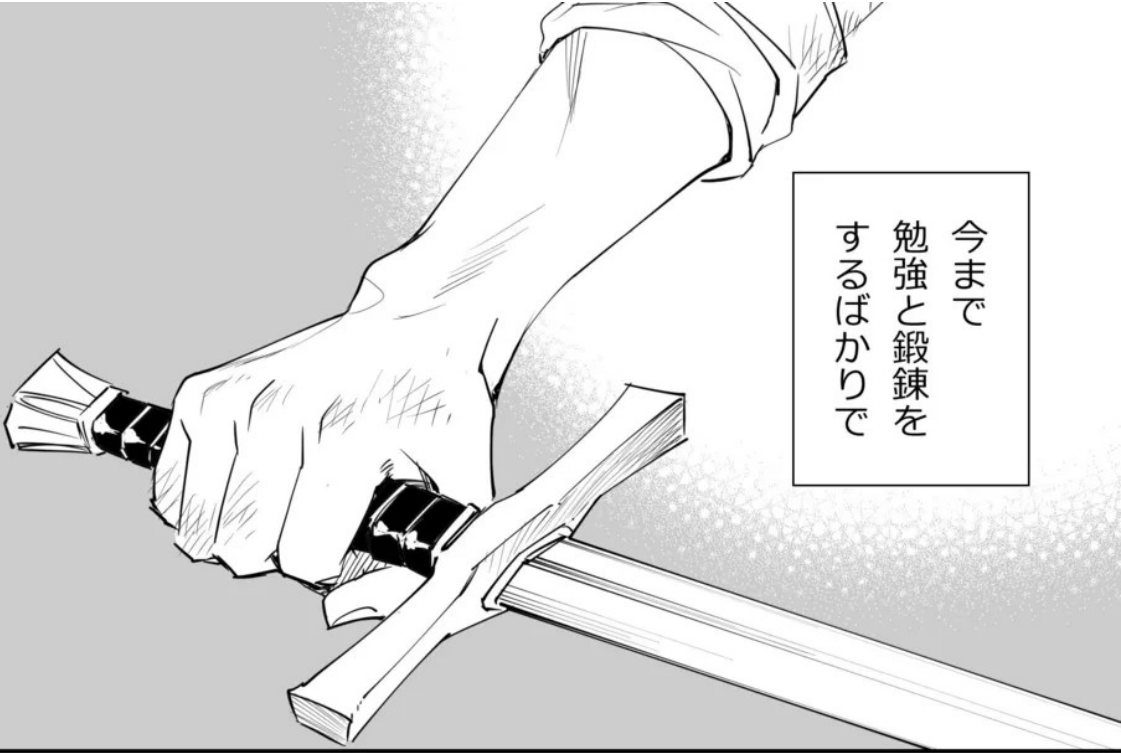


しばらく
止みそうにないな

少し休むか



ここまで
順調に来れたから
問題ない




今まで
勉強と鍛錬を
するばかりで

私生活の展望など
考えてなかった

考えたくなかった

彼女が誰かと
添い遂げている未来を



…以前
君が

訓練生
時代

馬に乗れなかったなんて
信じられないな

昔の話
だろう

家の馬丁に
頼み込んで
滅茶苦茶
特訓した

報
西州

そう

いつの間にか
すぐ側を走っていた

前に強盗が
ご令嬢を人質に取り
街の外まで逃げたのを

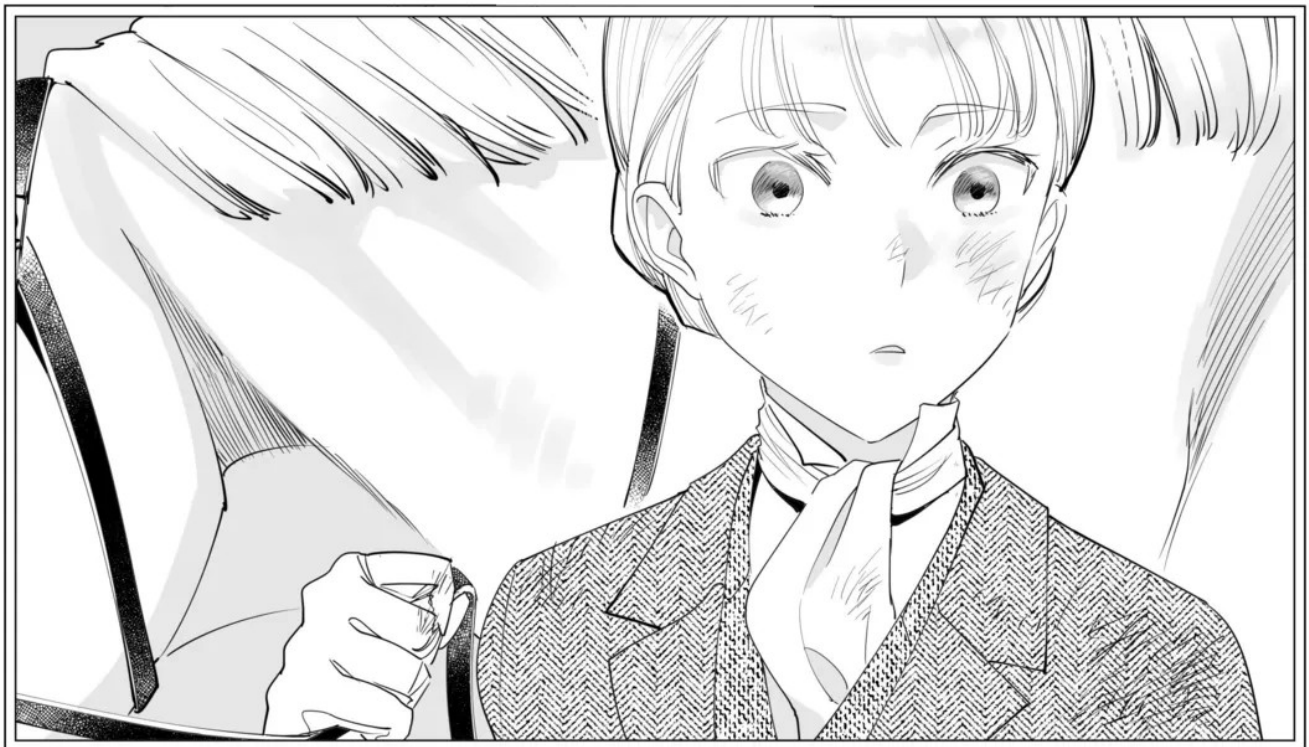
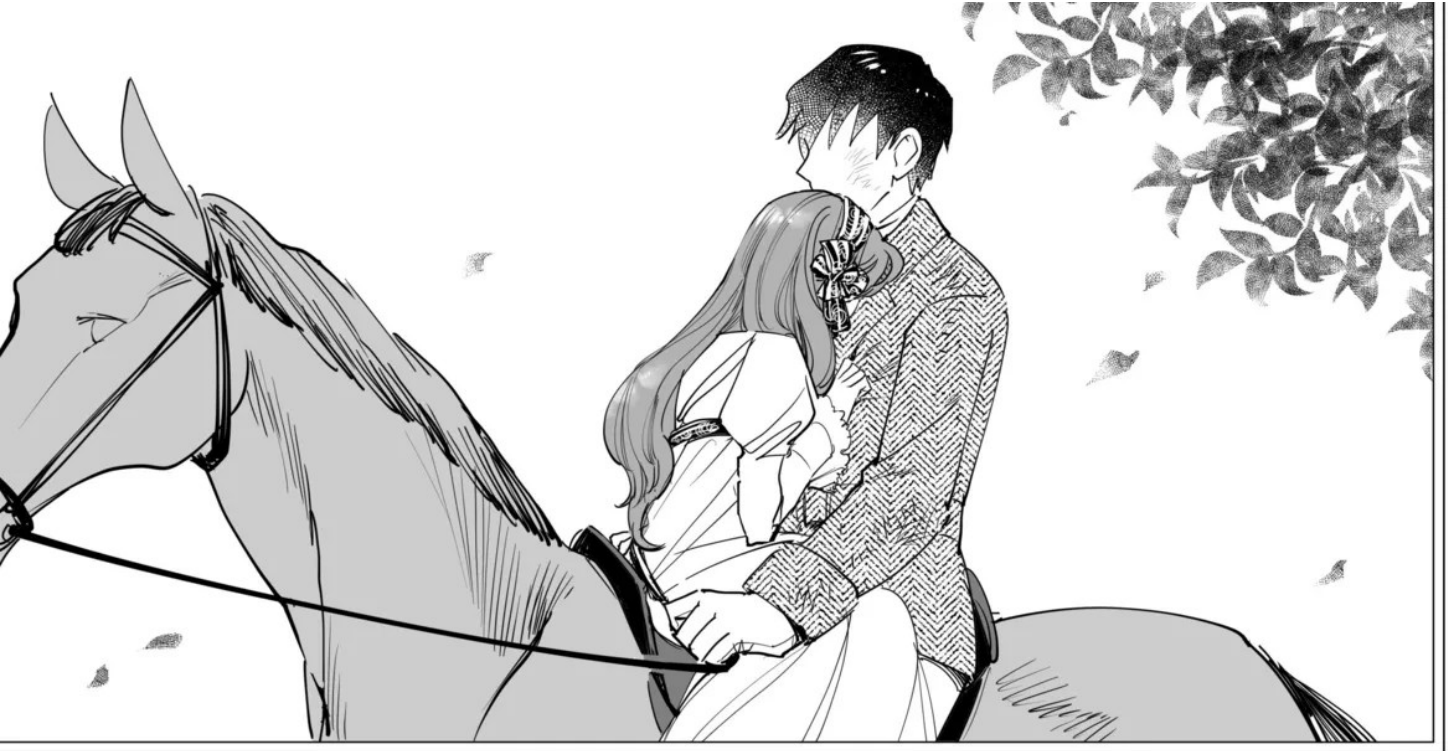
馬で追ったことが
あった

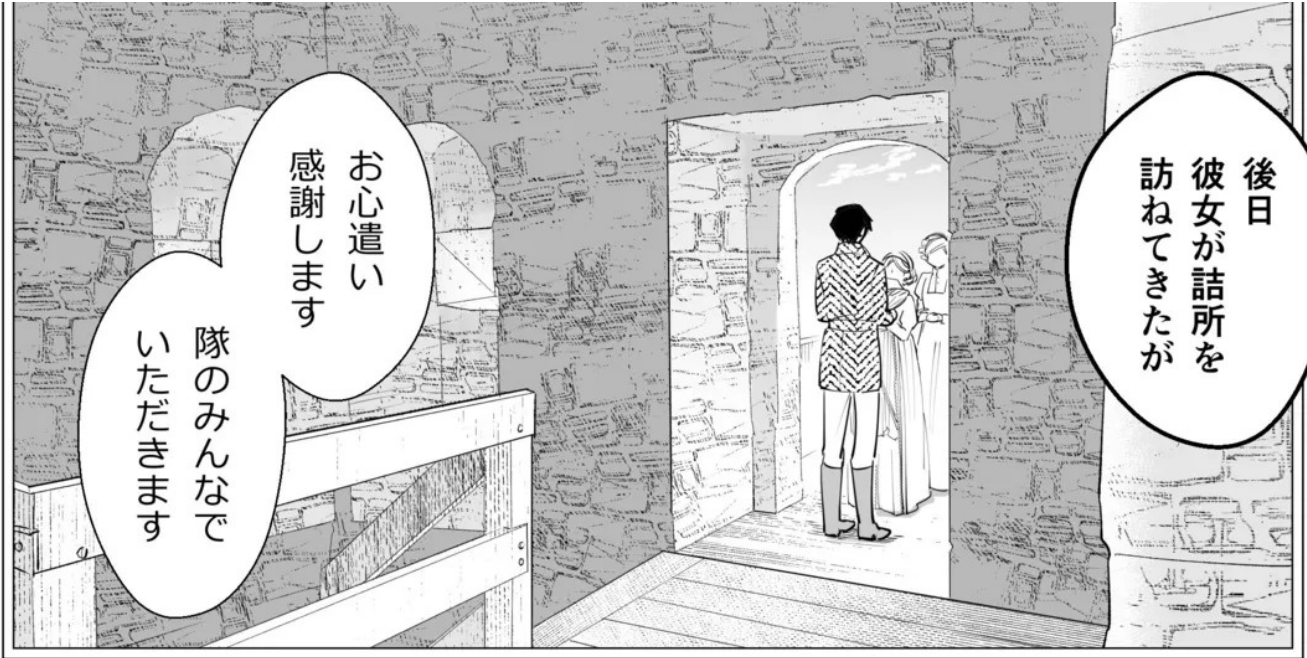


君は追い上げて
奴らの足を止め

見事な体さばきで
ご令嬢を救出した

ああ…
連携が上手くいって
早く片が付いた







彼女を助けたのは
仕事です

自分は隊長の指示に
従ったまでです



真面目なのは
いいが

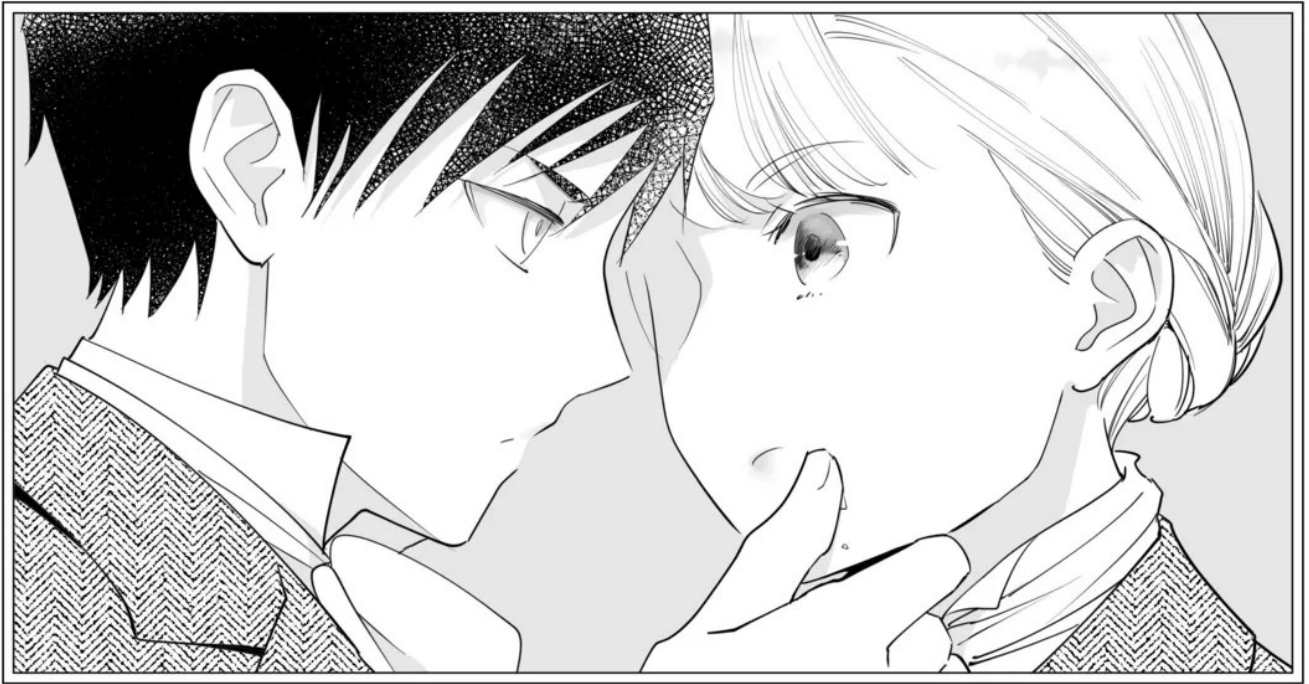
可憐で
気立てのいい
ご令嬢じゃないか

好意を受け取れば
恋に発展するかも



間に合っています







覚えある
けど...

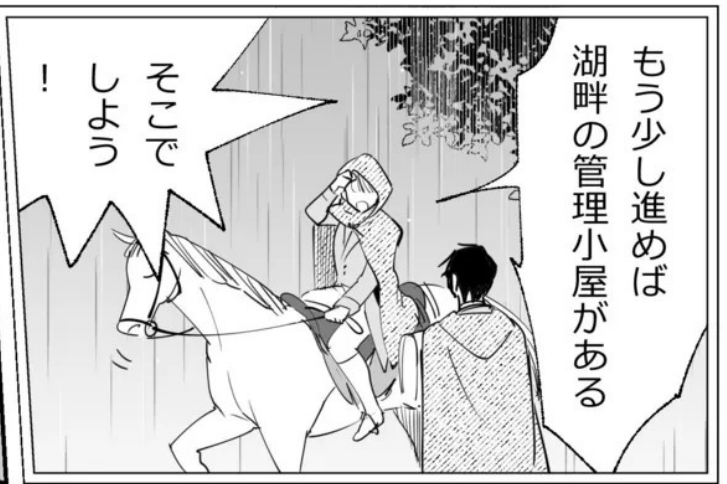
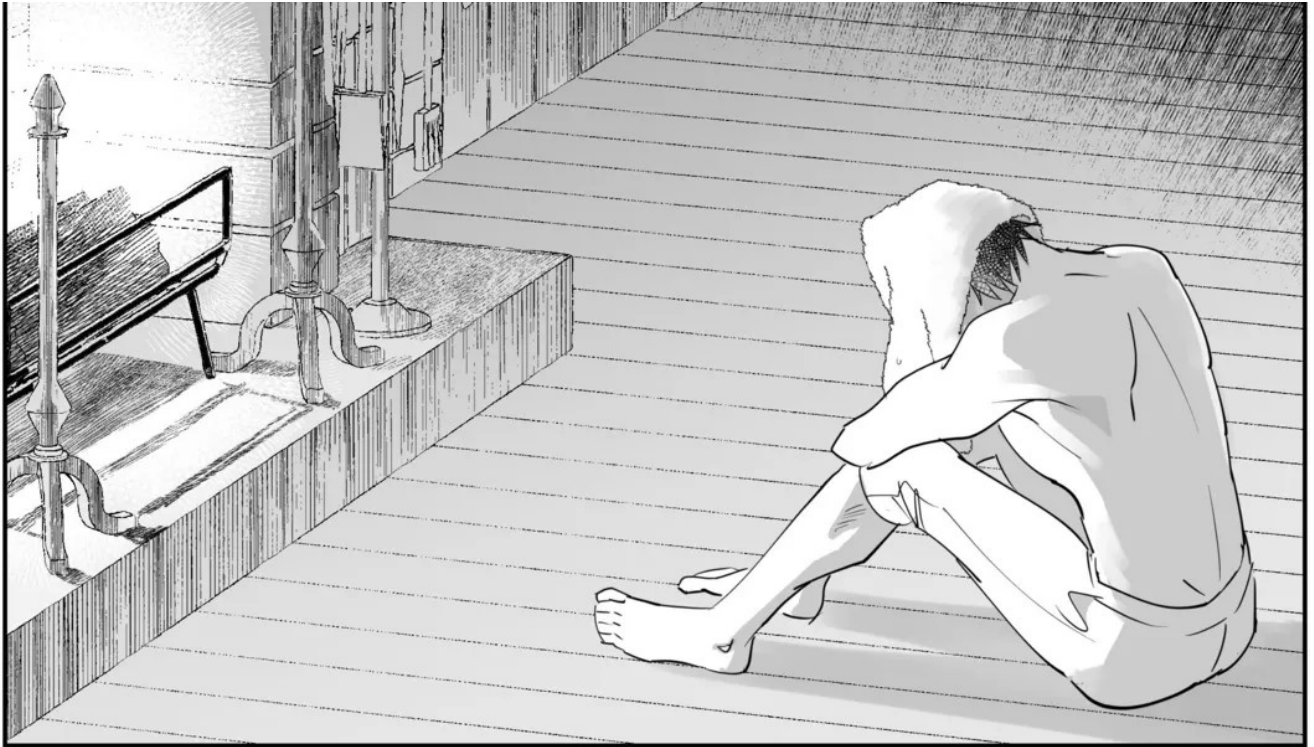
その目



そう



あの時もこう
したかった





もっとやせしめ
扱いたい

叶うなら
毎日したいよ

愛を確かめ合うのに
様々な方法があると
聞いて

いろいろ試して
みたいんだ

ちゅ、



ええと…
許してくれる
なら

君のここも
さわって
みたり



く…
口に

含んでみたり
したい!



既婚者の
赤裸々な
お話し

こう見えて
淑女のお茶会にも
顔を出して
勉強しているんだ

そういう情報は
どこで



お互い気持ち
良くなる
より仲が深まる
というし

いい
かな!?

ま

待て



そんなの
理性飛ぶだろ

ぎゅ

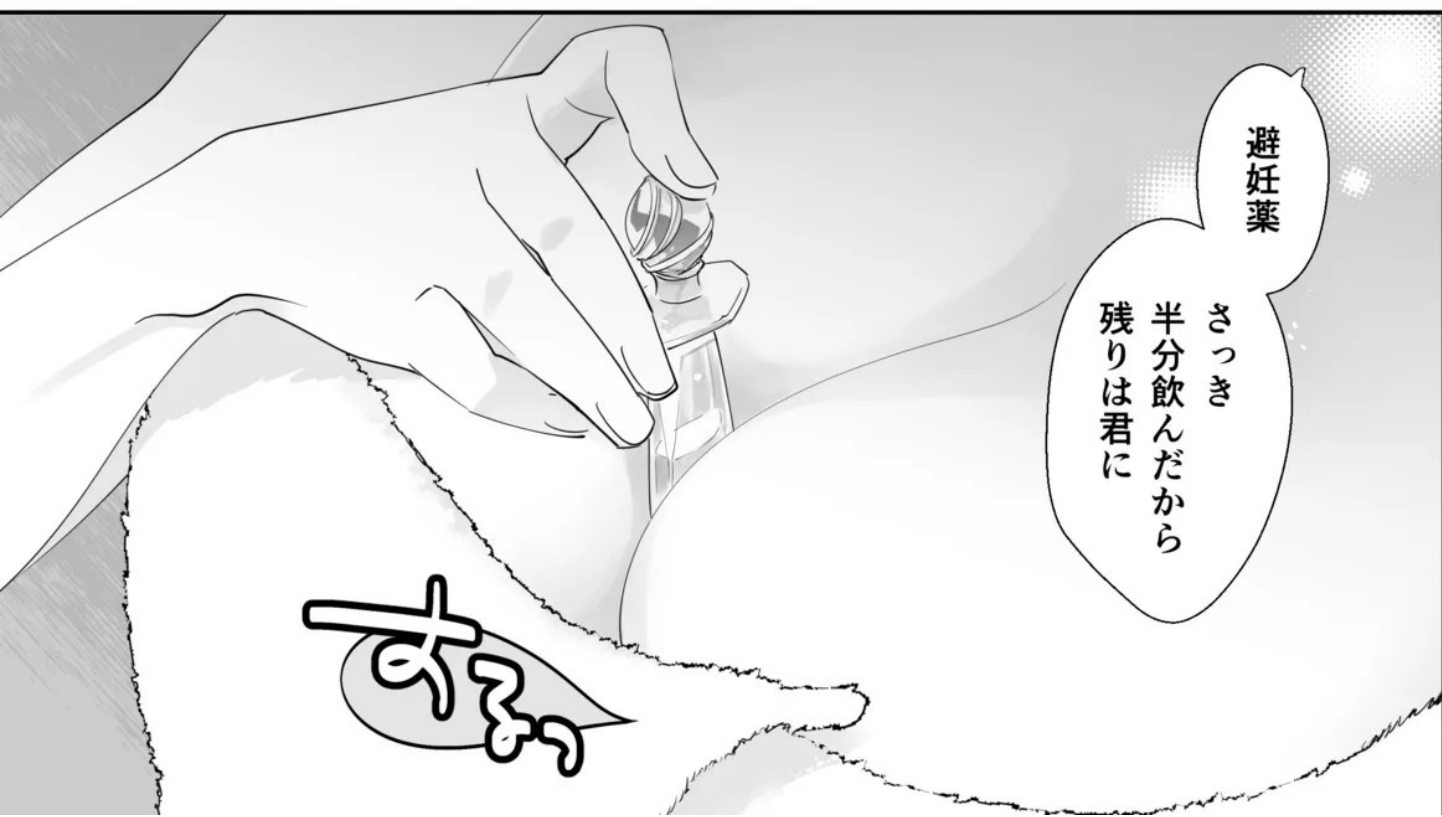
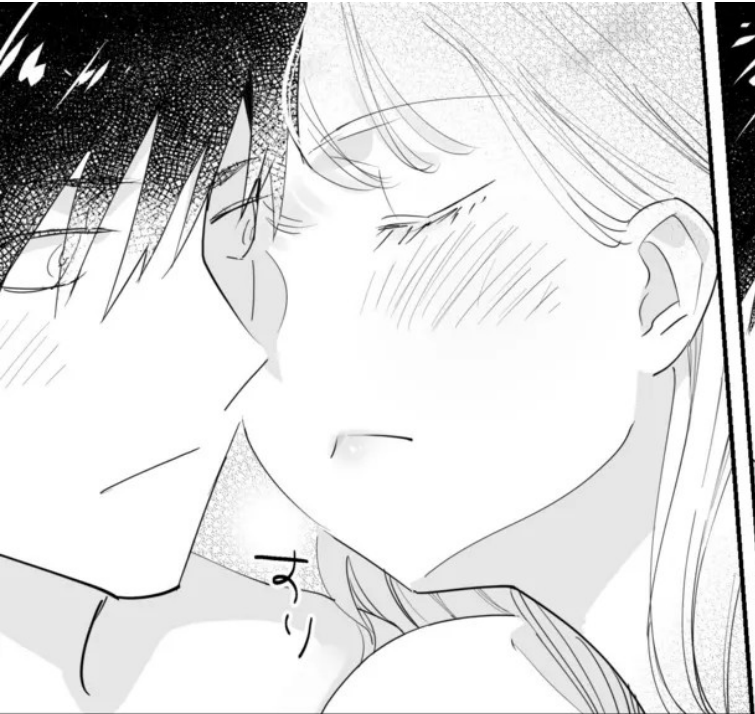
大事にしたいのに

そういうのは

もう少し
慣れてからでも
いいと思う

お互いの
良い触れ方は
ゆっくり模索して
いこう

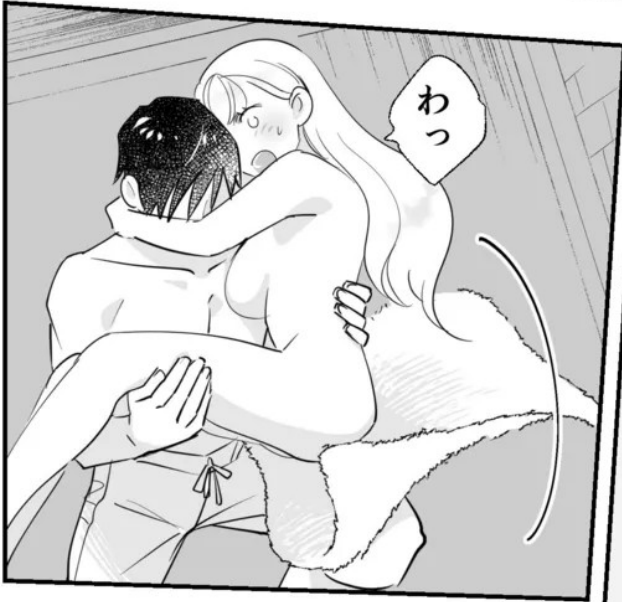
一緒に



避妊薬

さっき
半分飲んだから
残りは君に

すっ



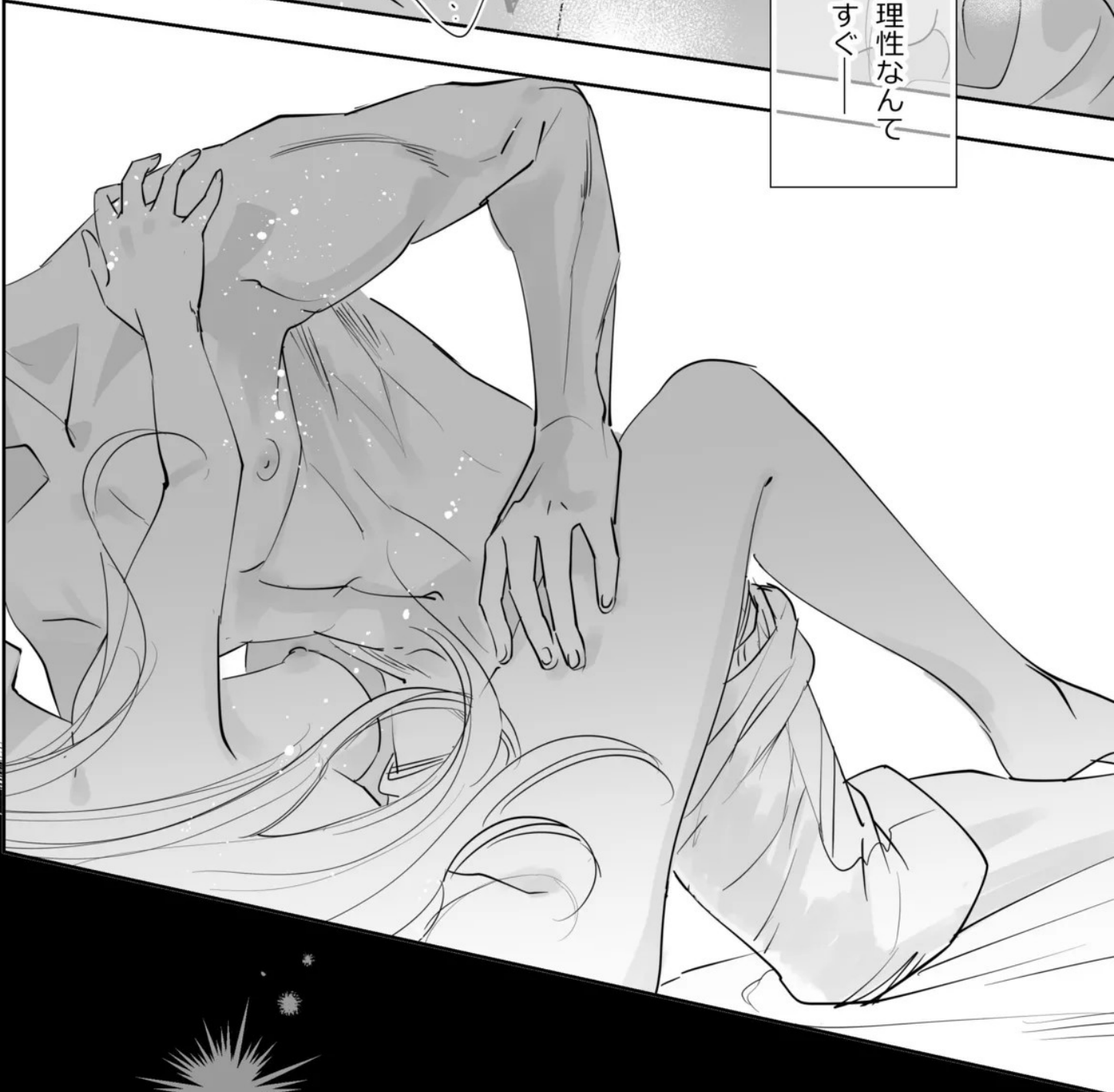


過激な触れ方なんか
されなくても





理性なんて
すぐ――





酒豪一家
だったとは…



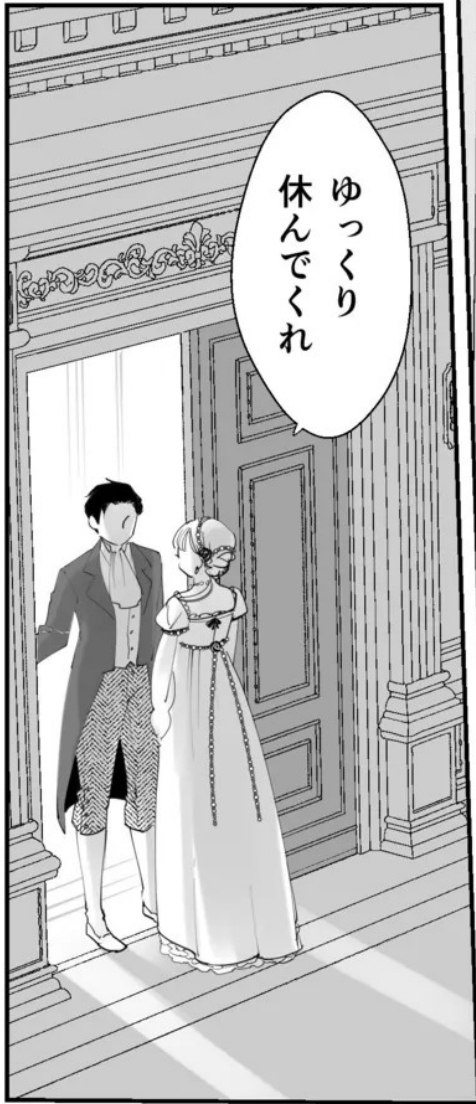
だといいが



いつもは量を
控えていたのか

今日は特別だ！
みんなもだいぶ
進んでいた

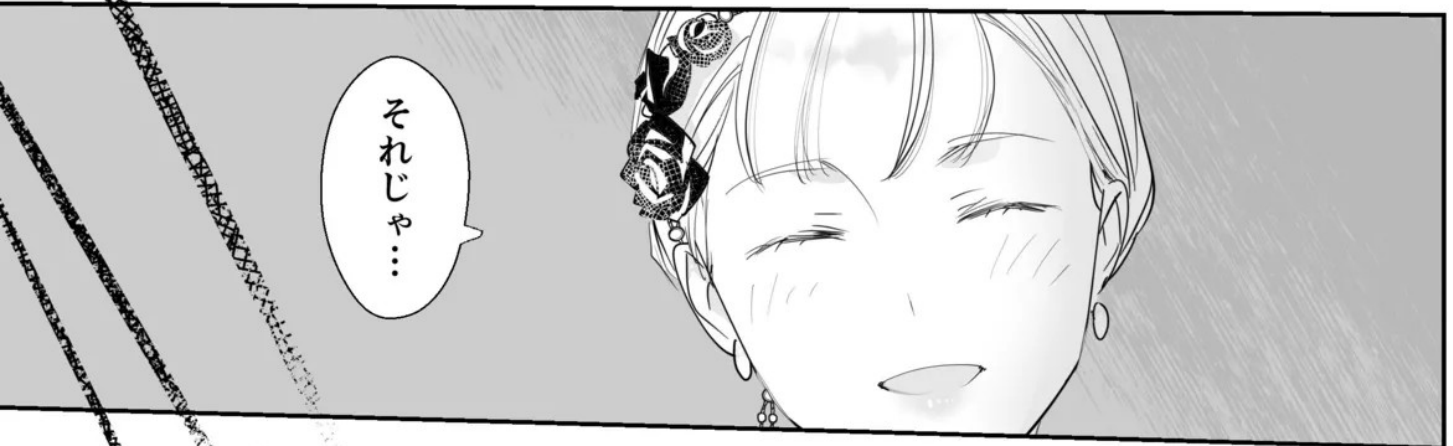
気に入られたな



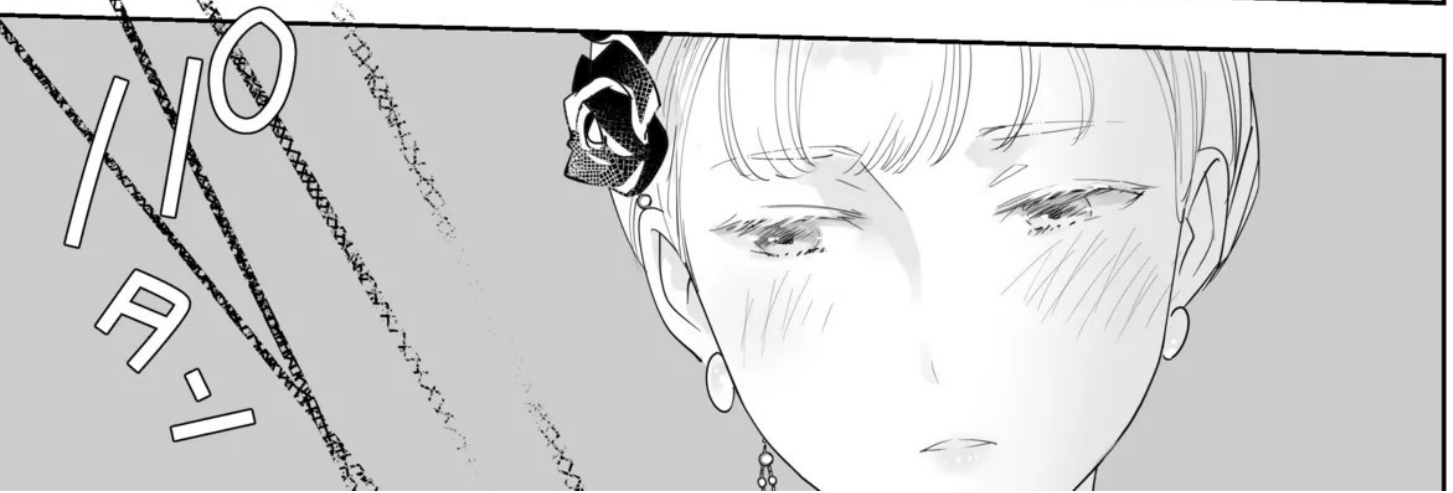
ゆっくり
休んでくれ



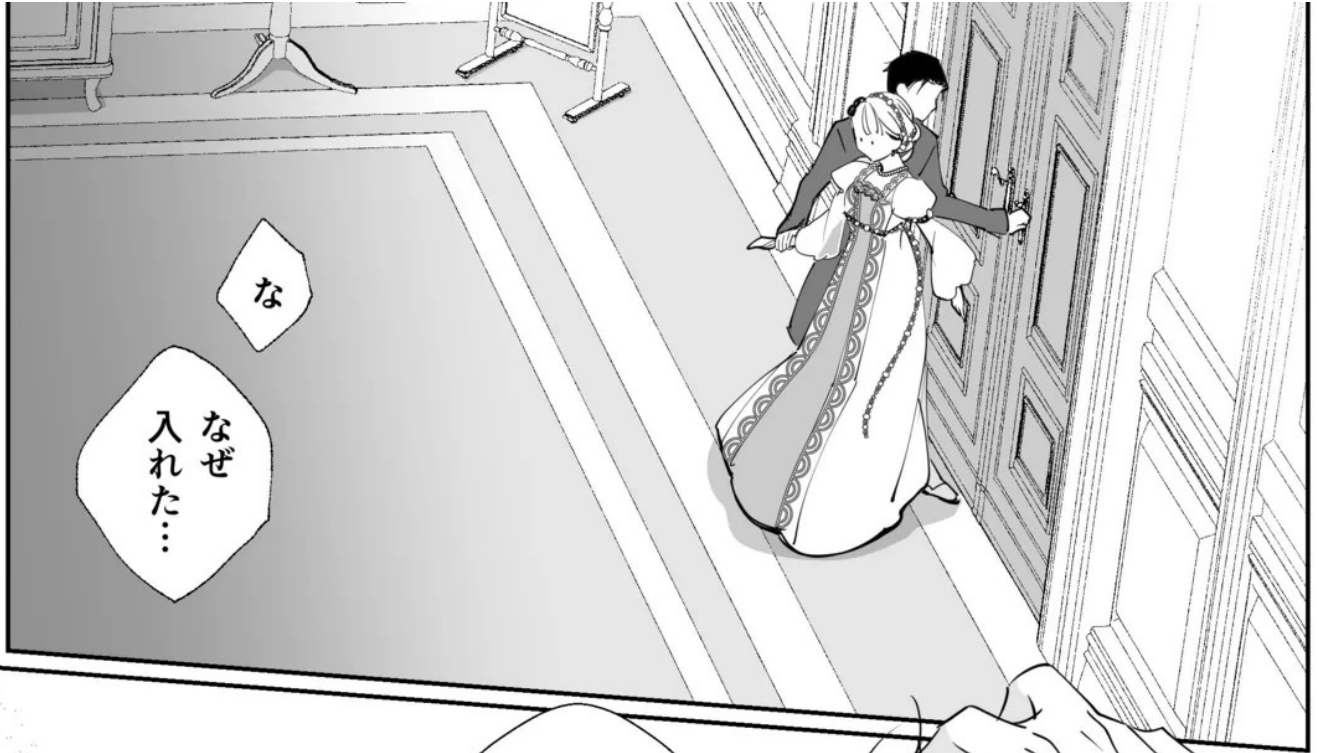
今日はありがとう



それじゃ…



110
A-1



な

なぜ
入れた…

節度を
わきまえない
婚前交渉に
ついては

明日ご家族に
全力で謝罪する



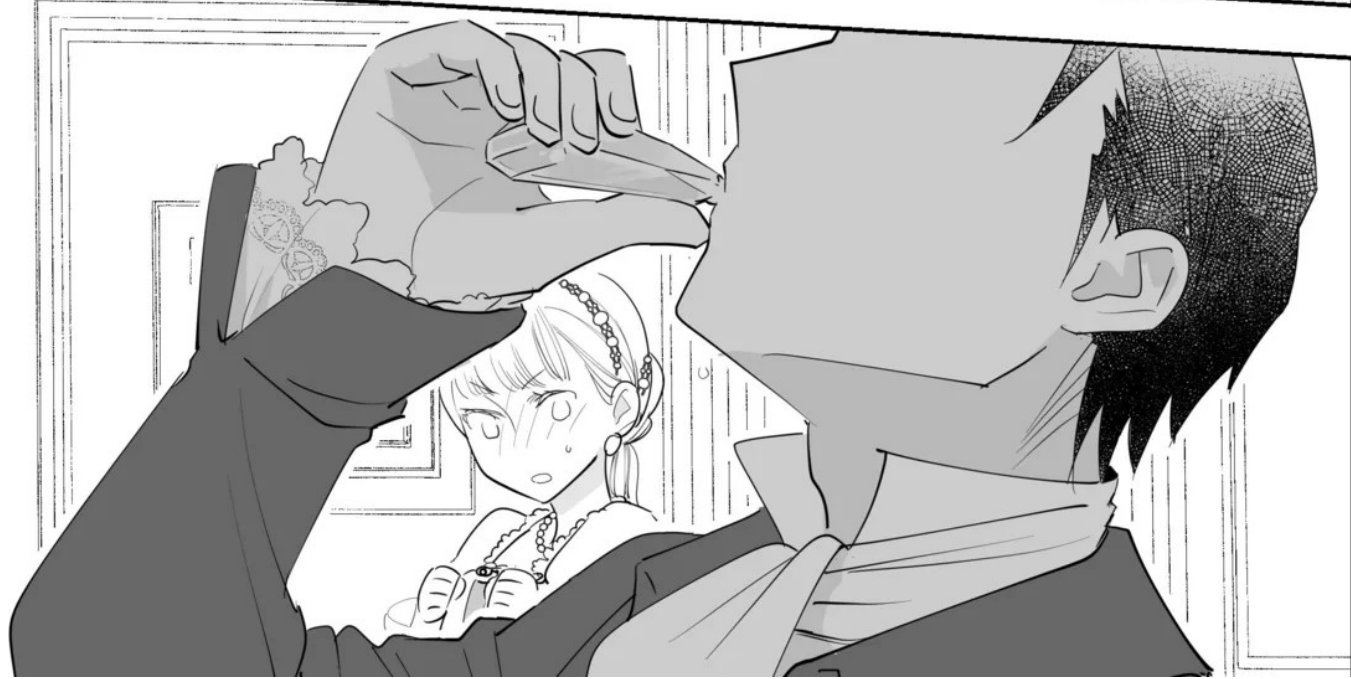
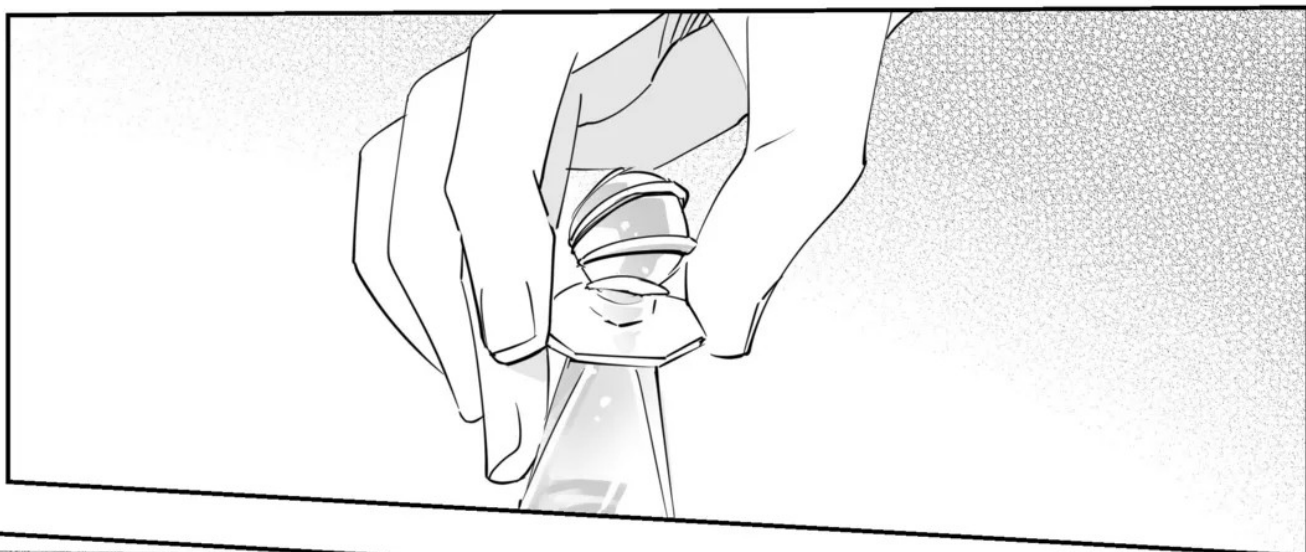
避妊薬がもう
手元がない

半端に自制せず
準備していれば...

その叱責は
覚悟して
いるとも！
それより



お



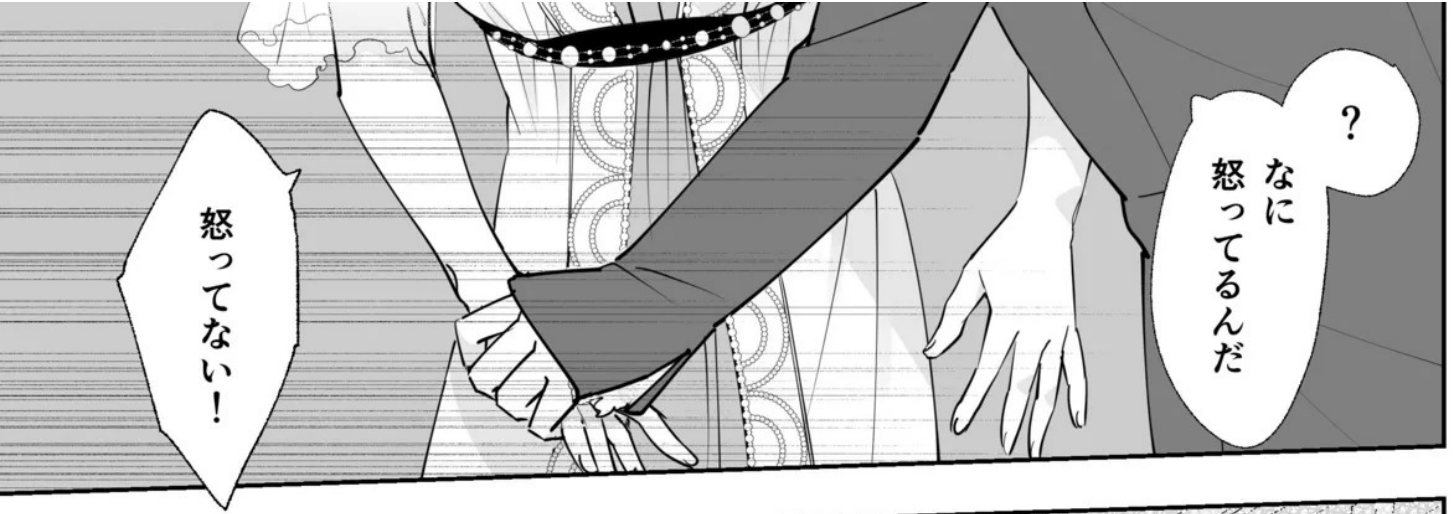


残り
飲んでくれるか



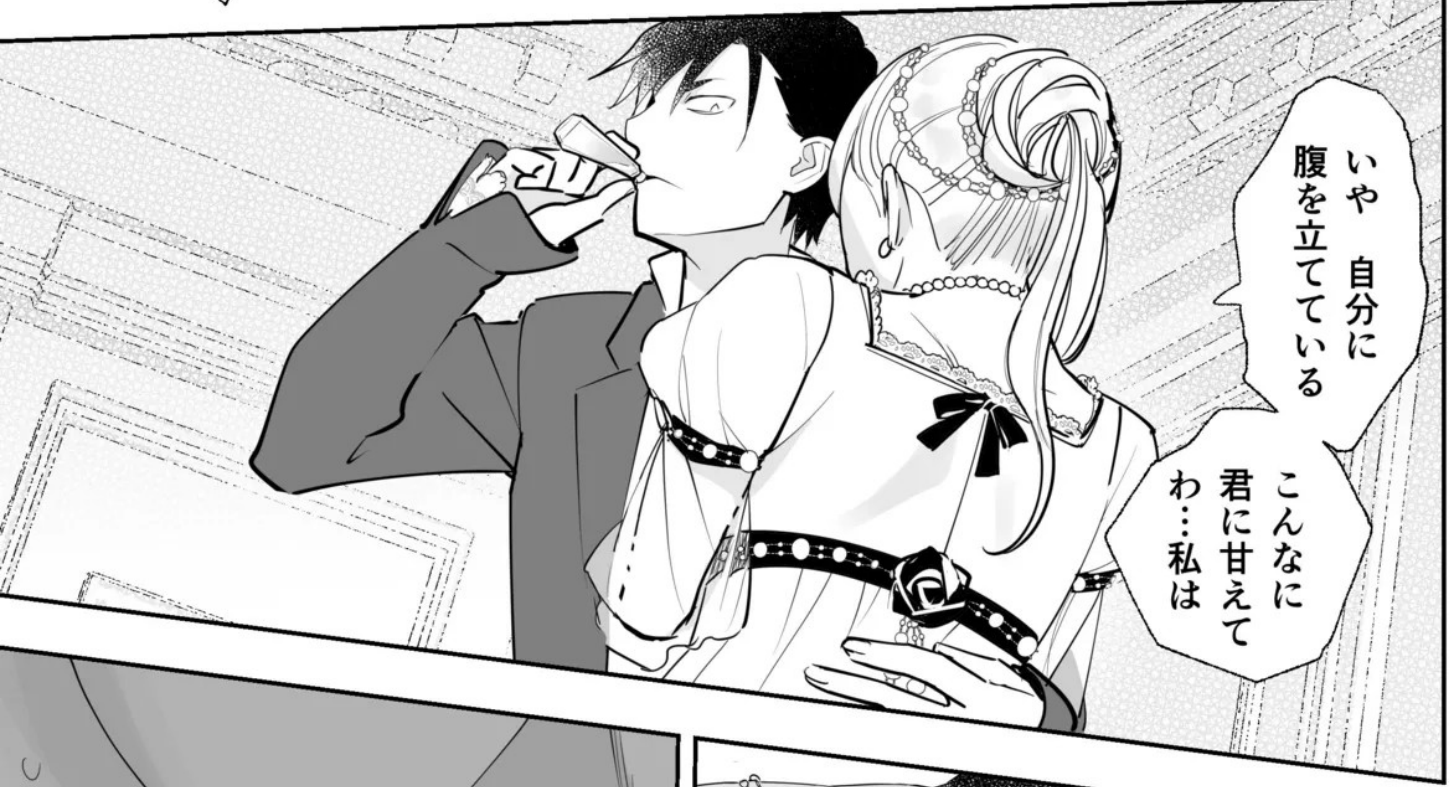
効くまで
挿れないから





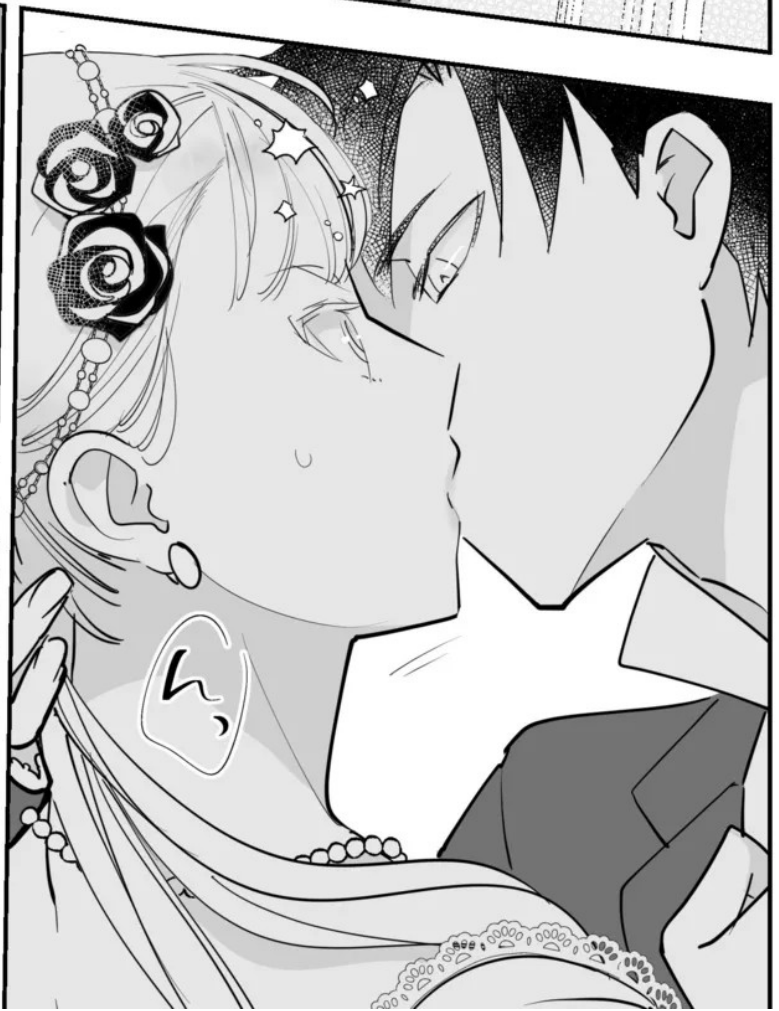
怒ってない!

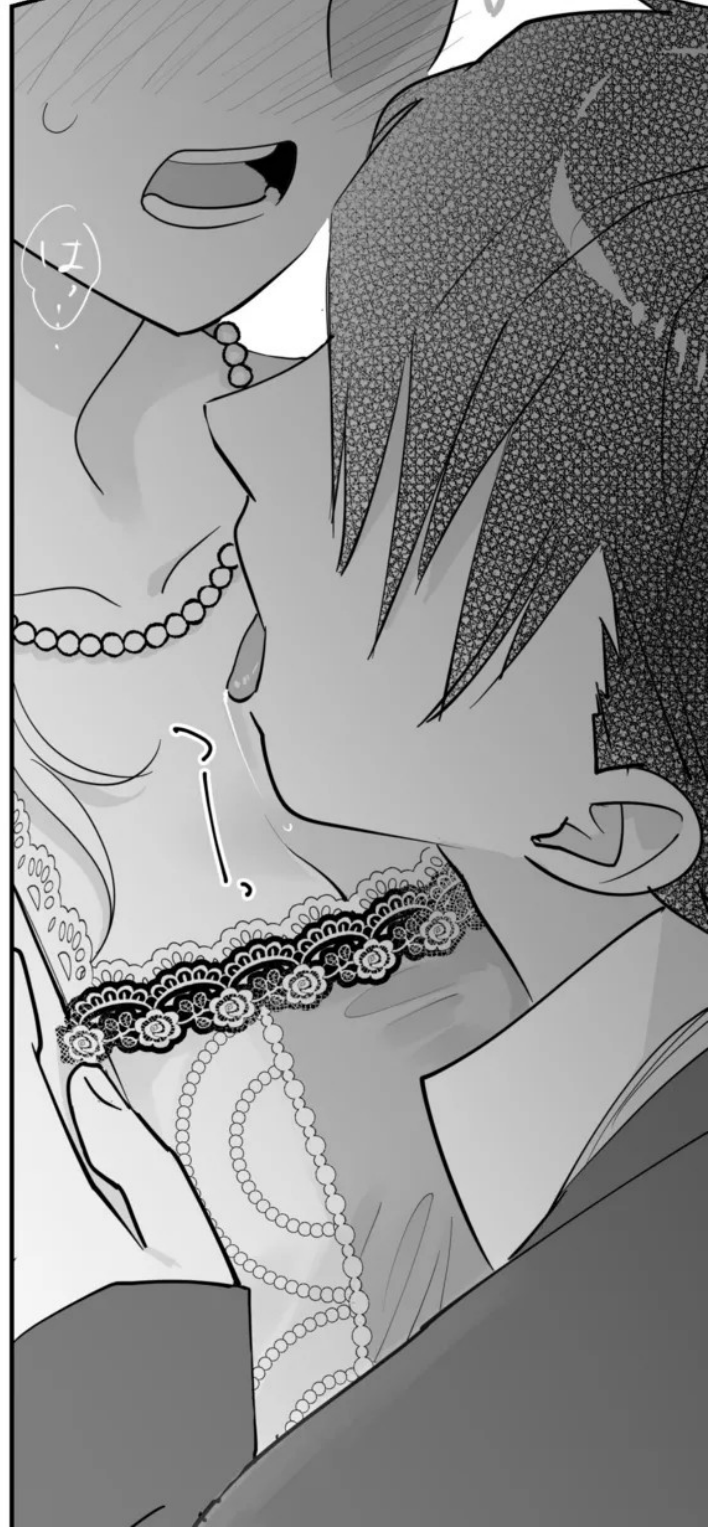
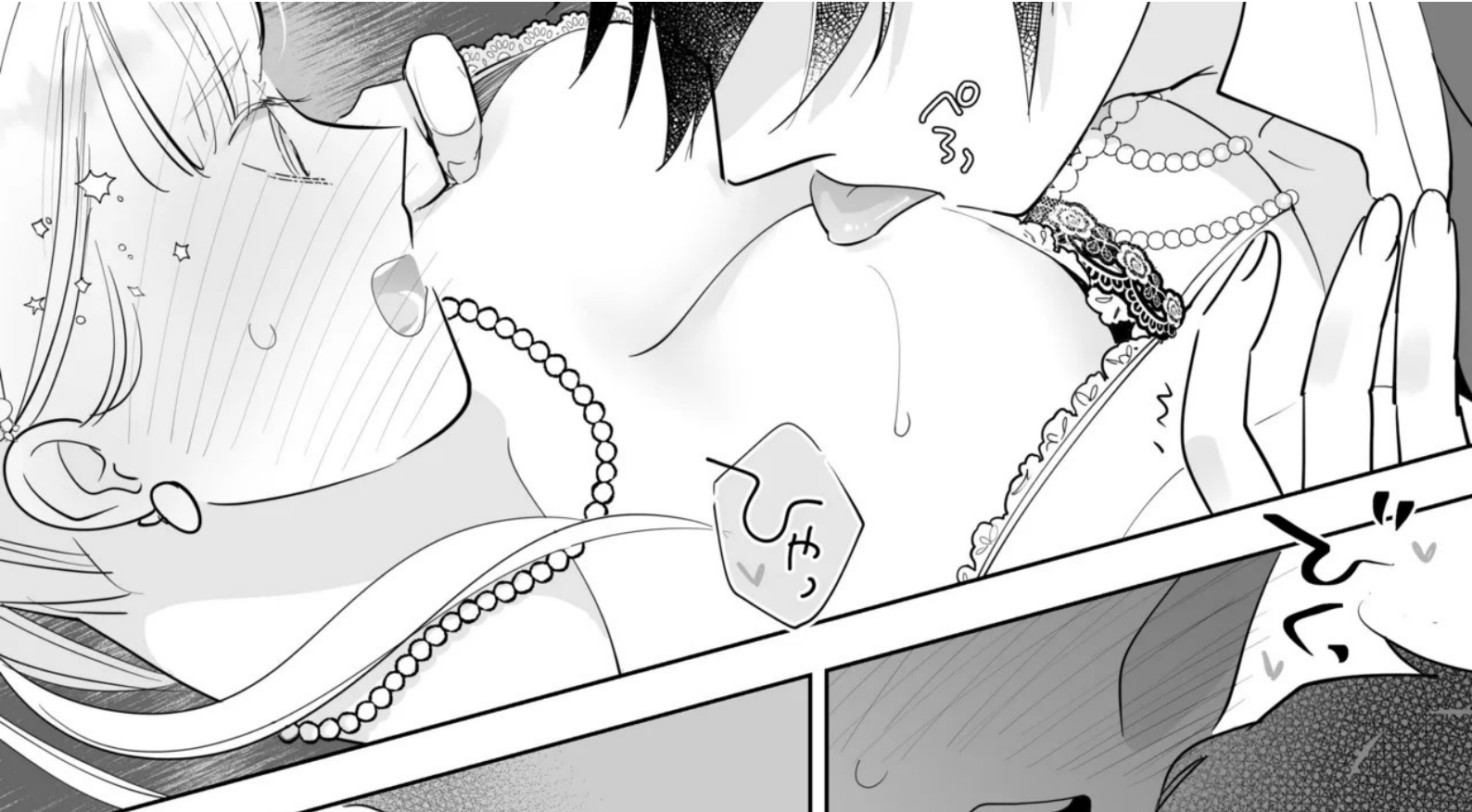
?
なに
怒ってるんだ

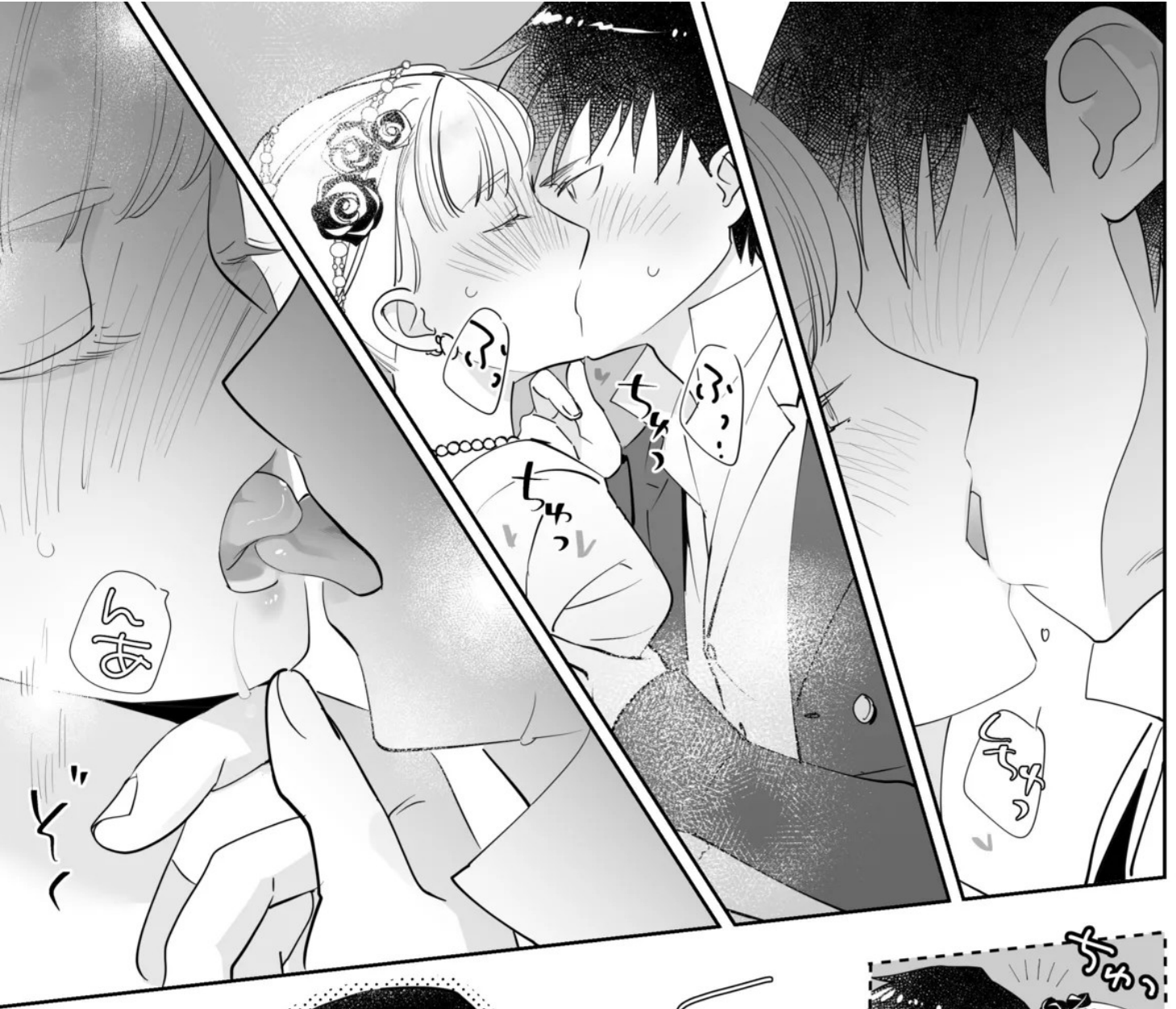


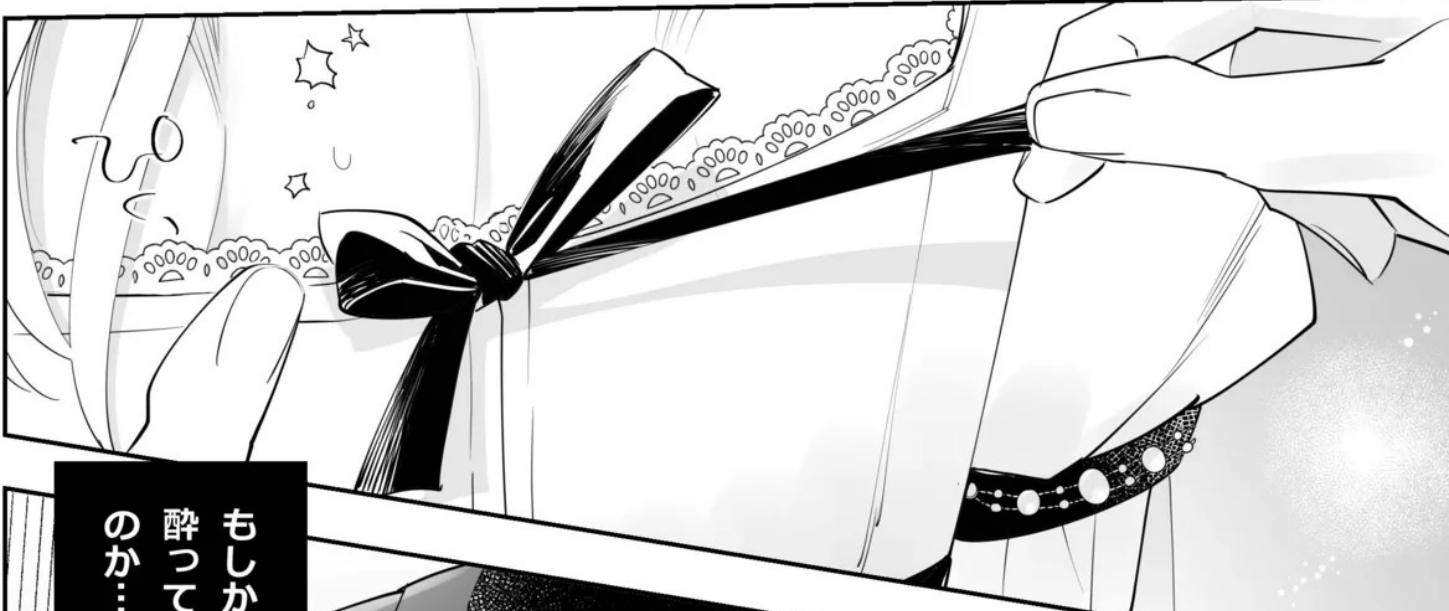
いや 自分に
腹を立てている

こんなに
君に甘えて
わ：私は









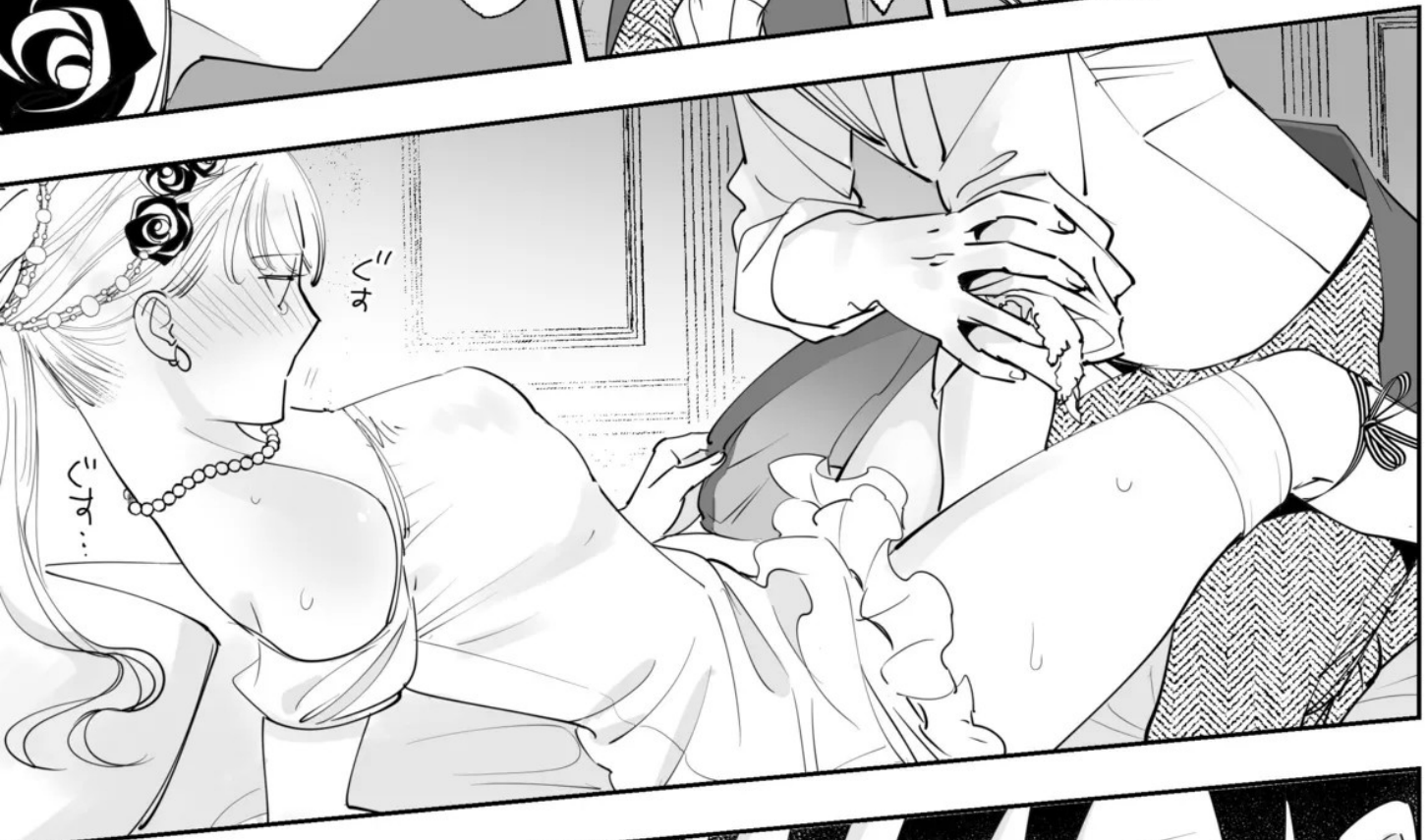
もしかして 酔ってる のか...





今すぐ挿れて
ほしくなる
から…っ

もう
さわるな！

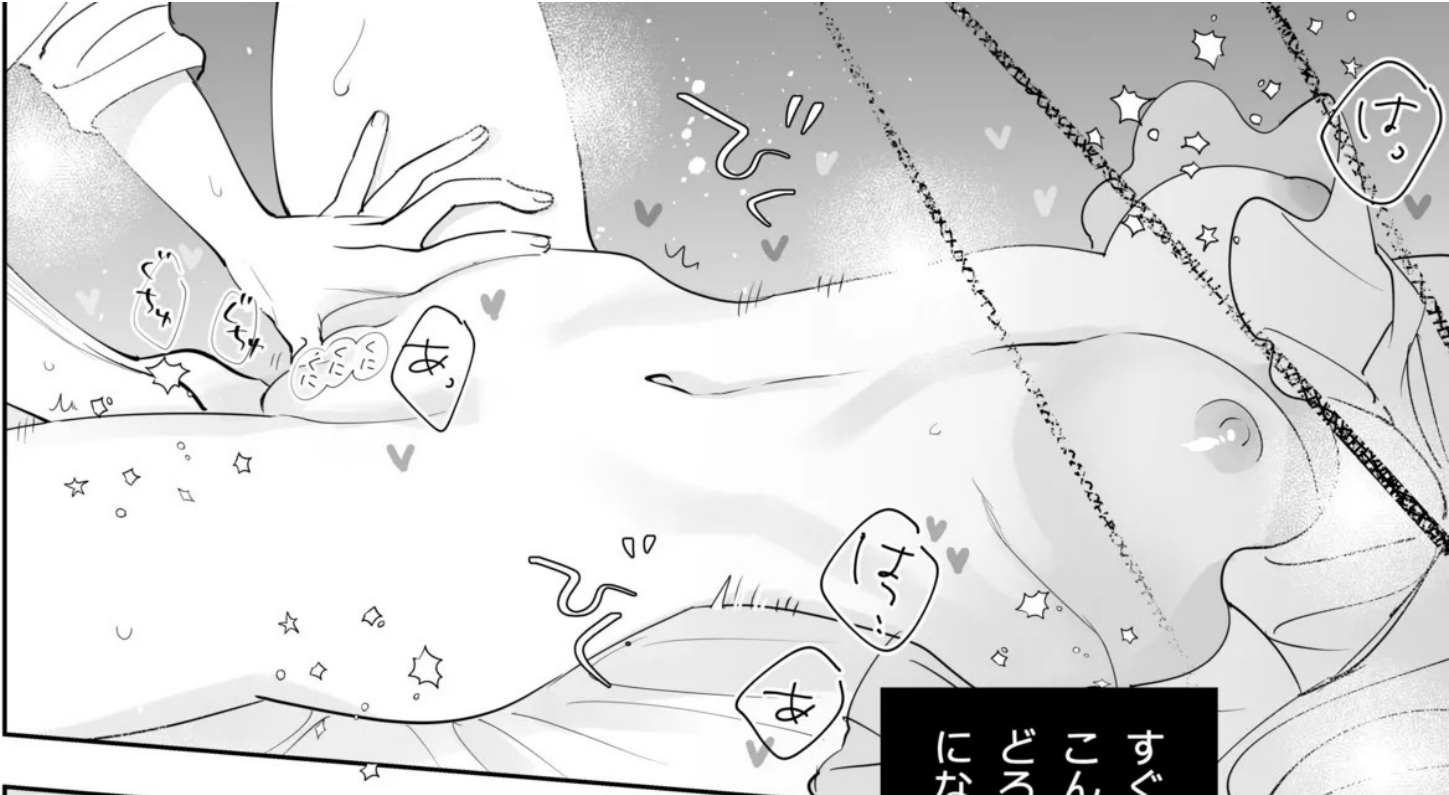


ニテ…

ニテ



こっちで
我慢してくれ



すく
こんな
どんどん
になって



俺だって早く





胸もさわって
ほし...

げい

く

落ち着け

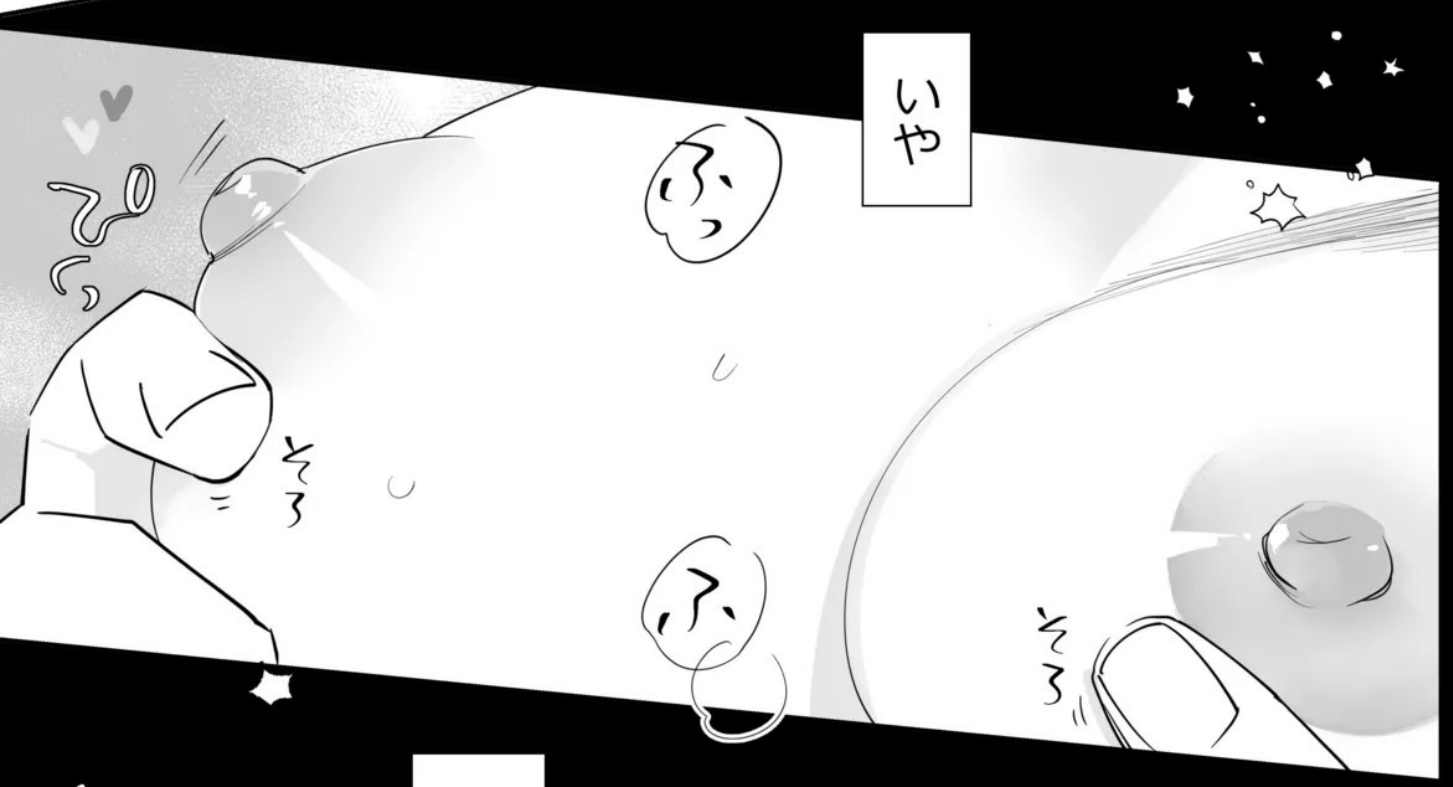
落ち着け



むに...

.....

見なければ
大丈夫



い
ぢ

これ



…そろそろ効いてるはず



いいか？





前回みたいな
痛みは？

うん…
少しあるけど

いいぞ
いっぱい
動いて



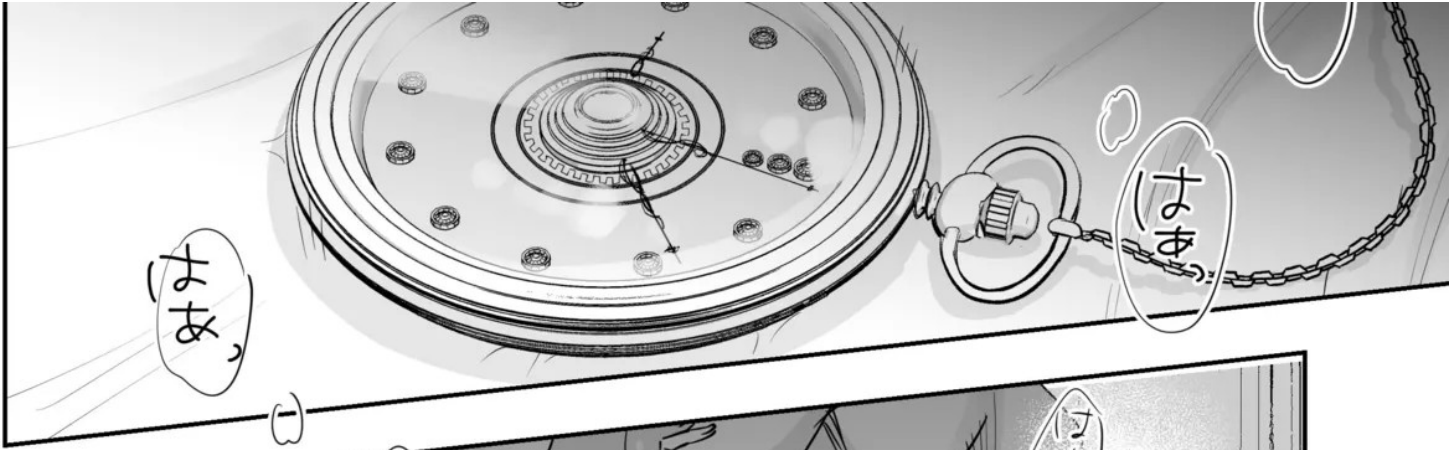
…いや
ゆっくりやるから

何回したって
いいんだ

行きは途中から
馬車だったから
体力は余ってる

酒が抜けて
調子が戻って
きたか…？

言ったな



はあ、

はあ、



は、

は、

はあ、

おい…

はあ、

は、



は、

どわわ、

は、

は、

は、

ずっと
ゆるい振動
だけで…

いつまで
やるんだ

は、

は、

旅程の往路
半分の時間も
いってないが

※一回
出したから
余裕がある

ばか!
移動中は
こんなとこ

当たって

ない...

だから...

はっ

ん

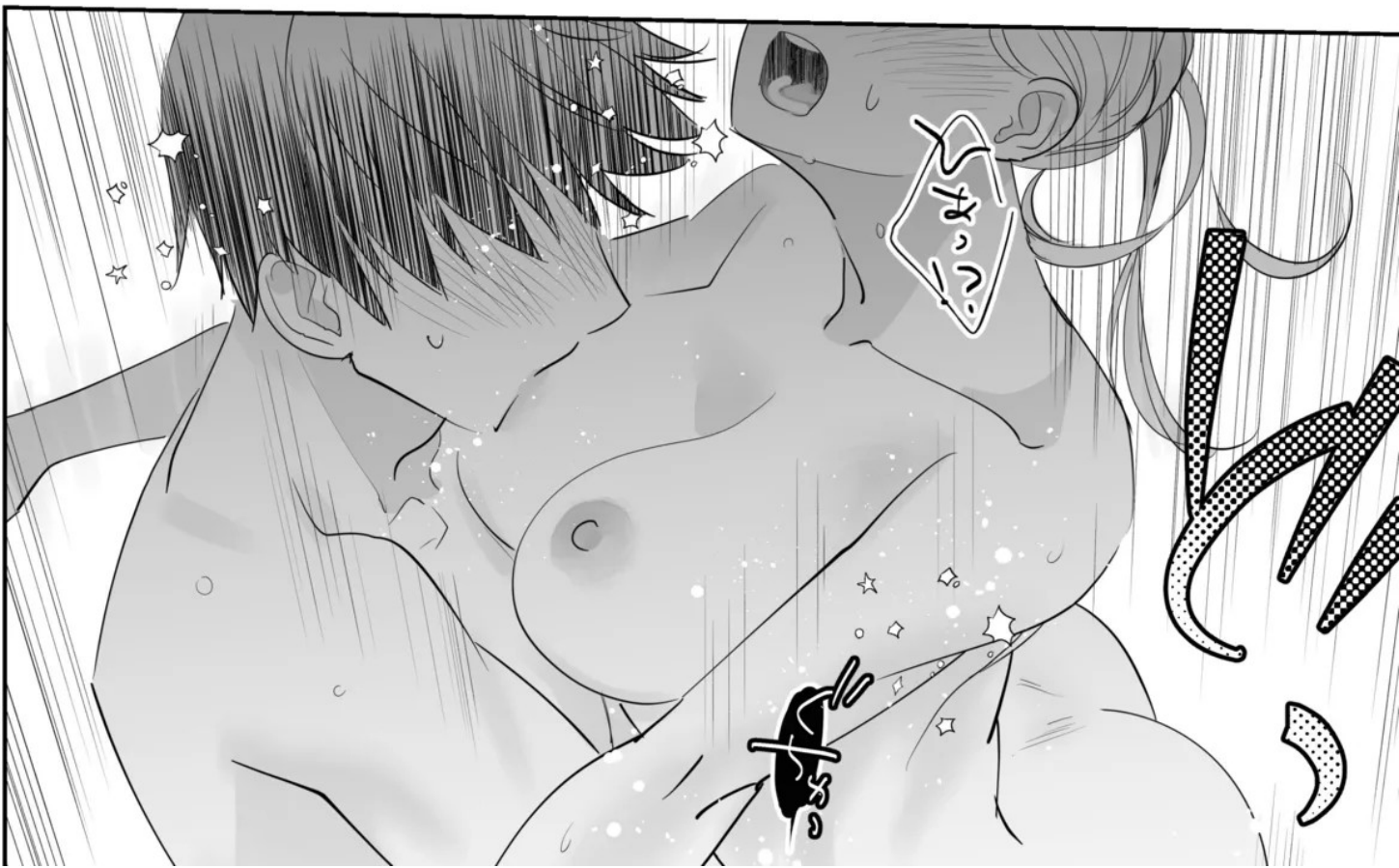
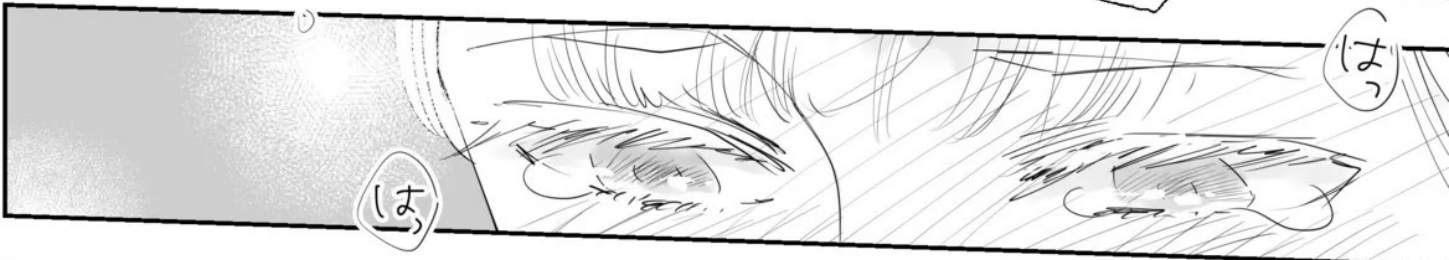
ゆる

わっ
っ
っ

わっ
っ

ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ

チン
チン
チン
チン





な

ガッ
ガッ

急に強
く
した
ら

あ

すま
ない
も
う...

は

ち
ち
ち
ち

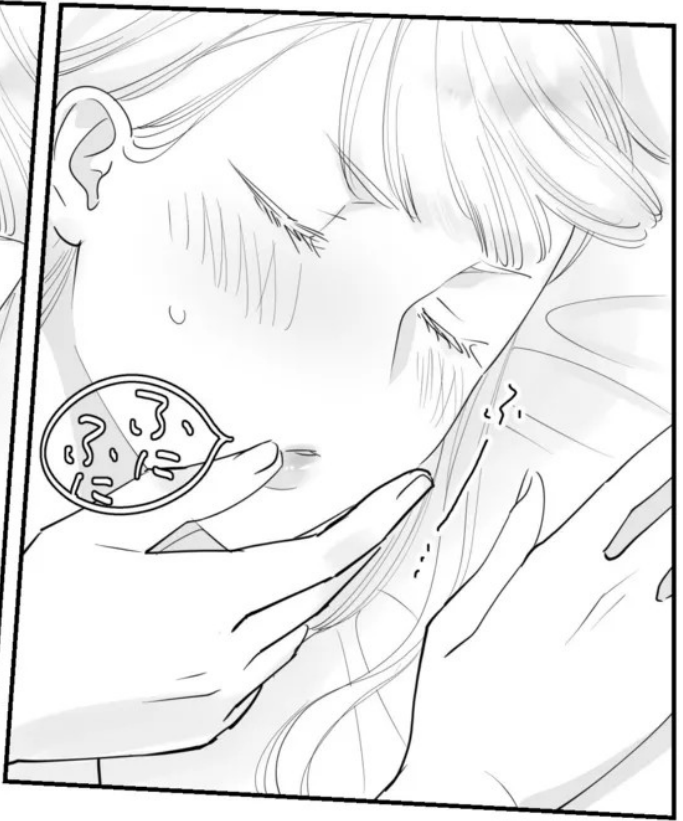
も
う

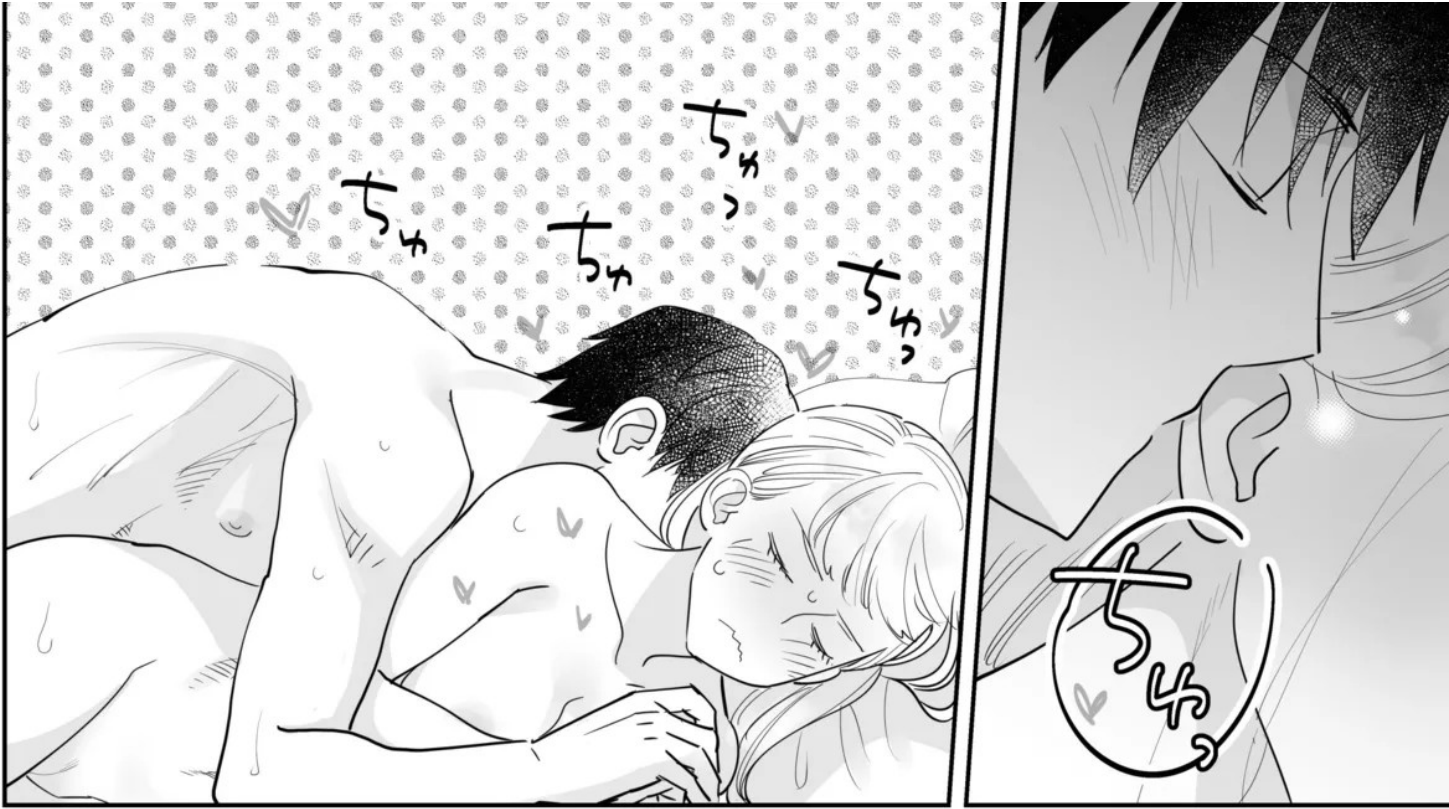
は

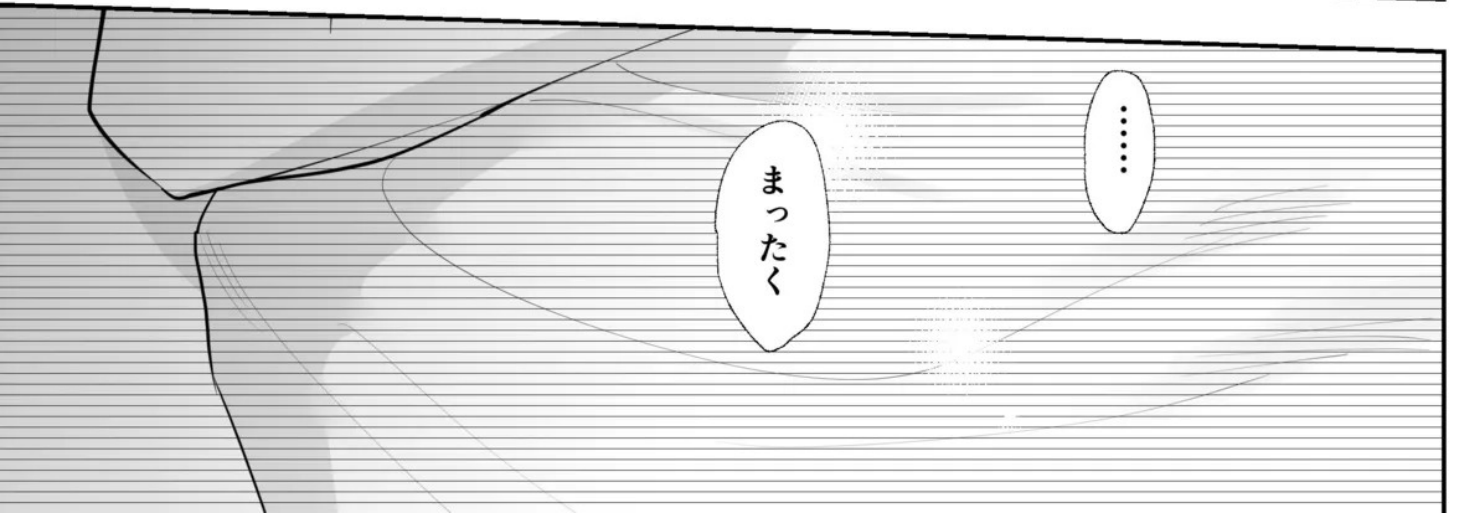
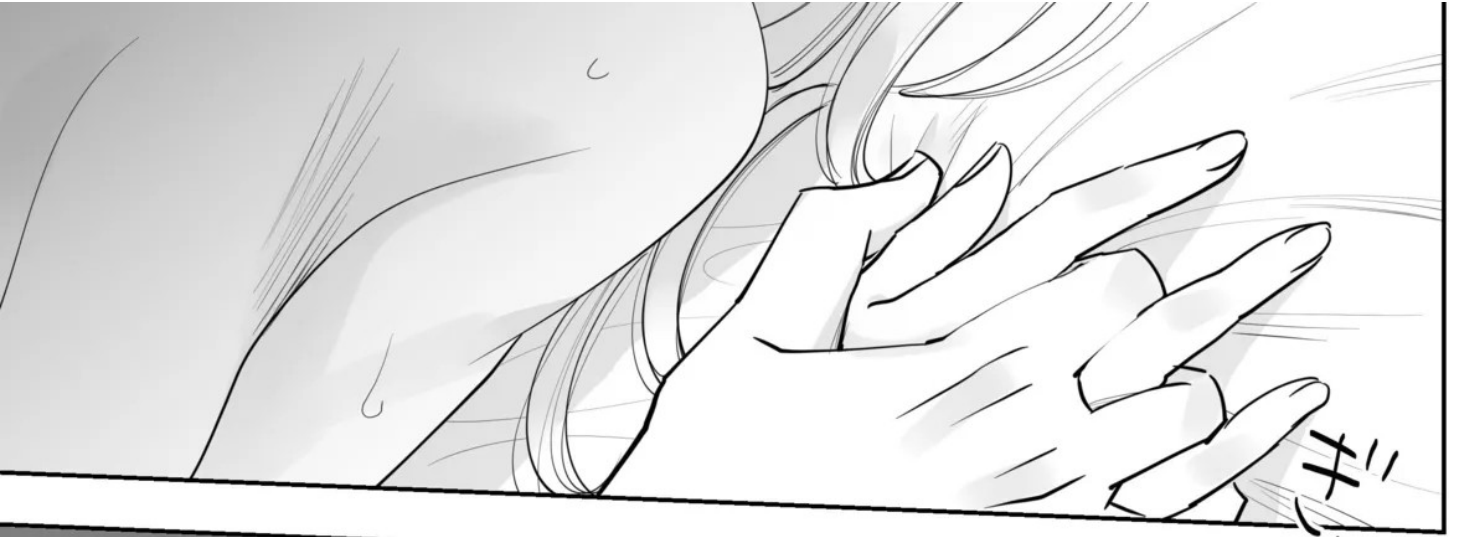
あ
あ

離
して
や
れ
な
い



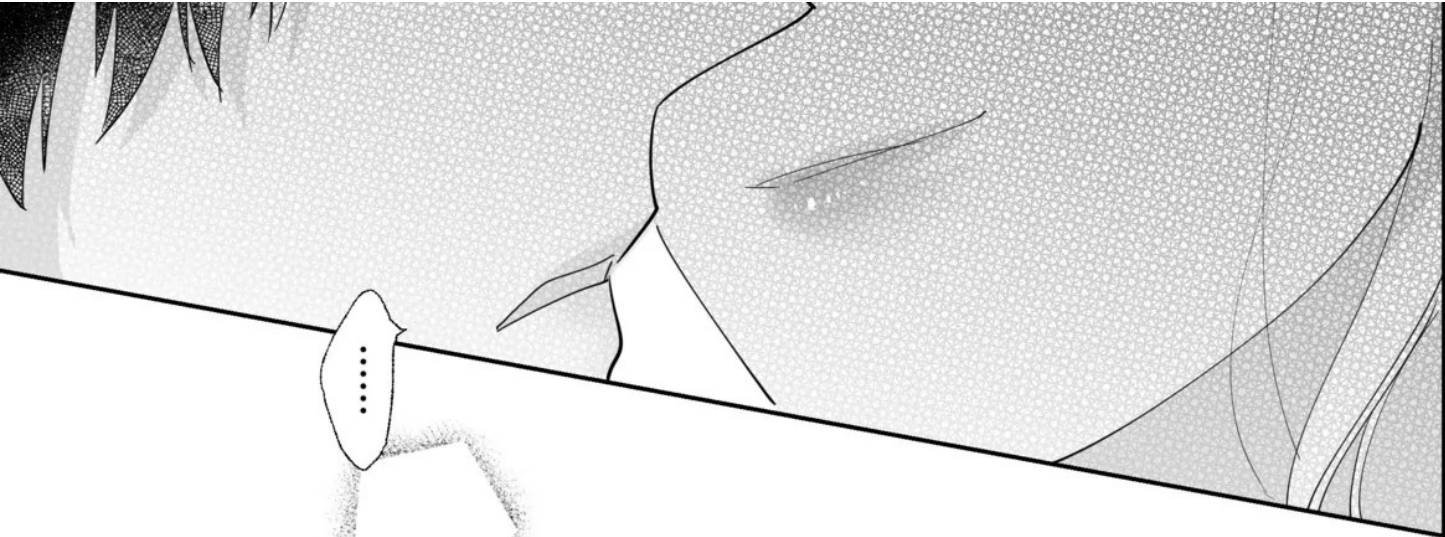




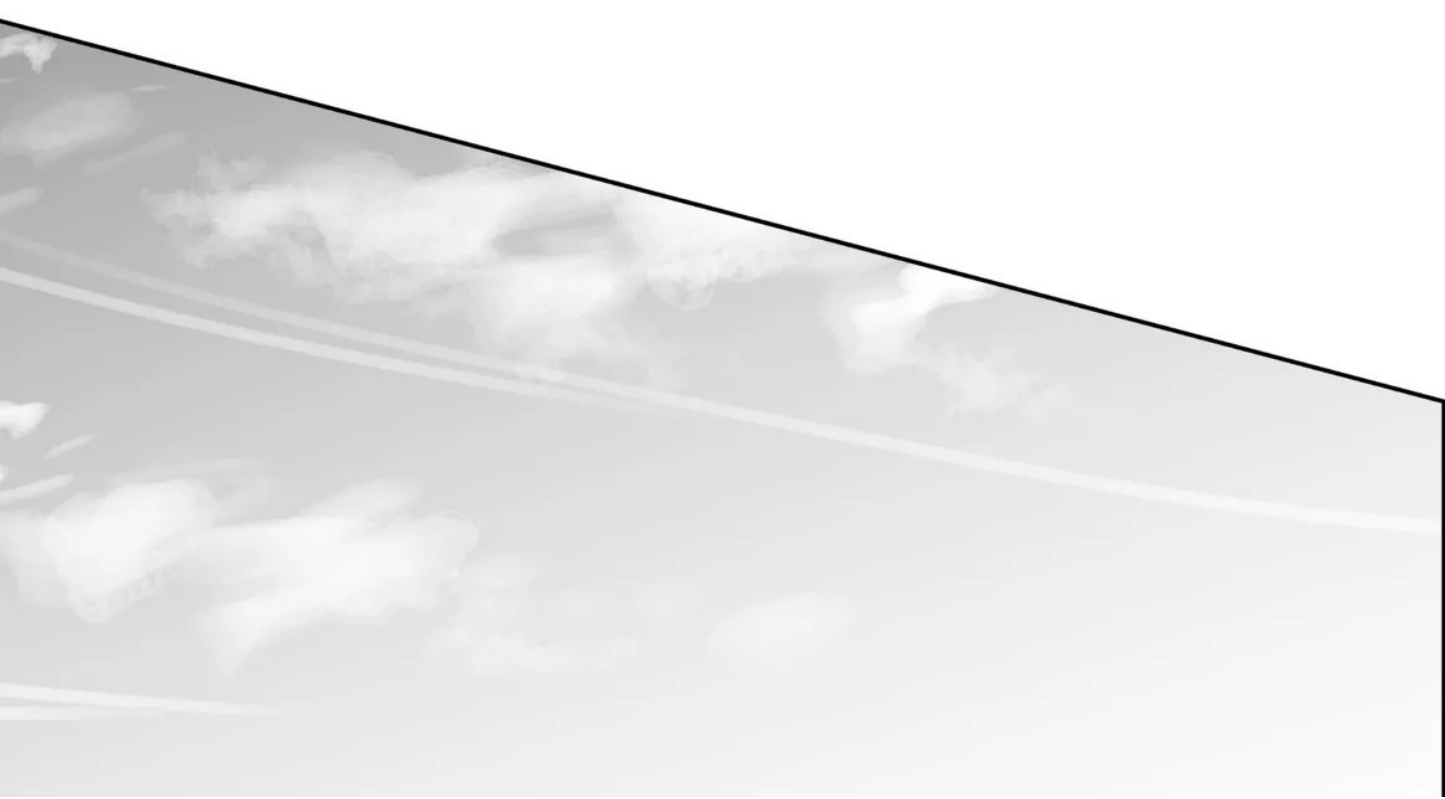
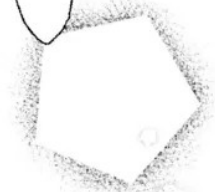


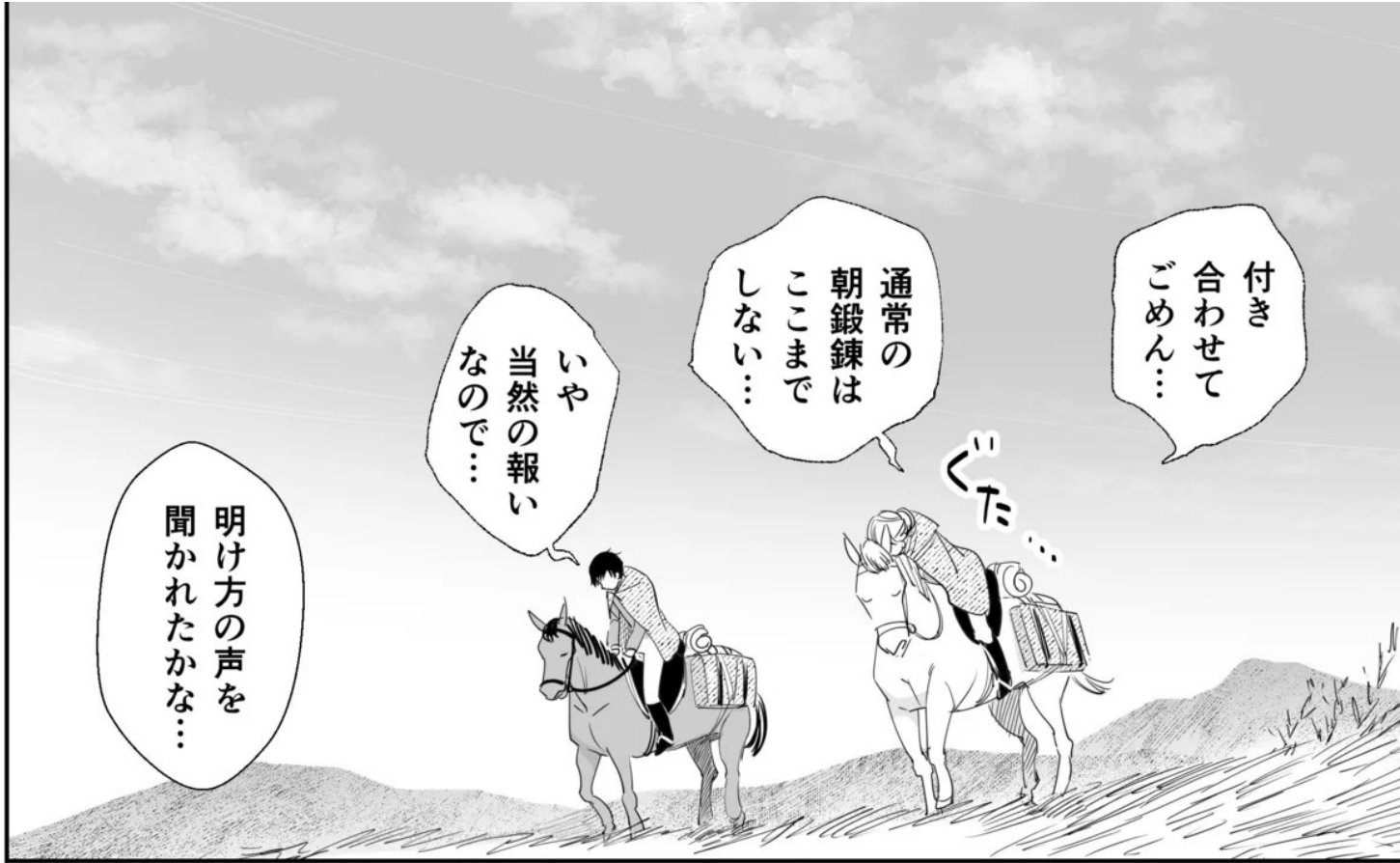


私が
何を望むか
知ってるだろ



...





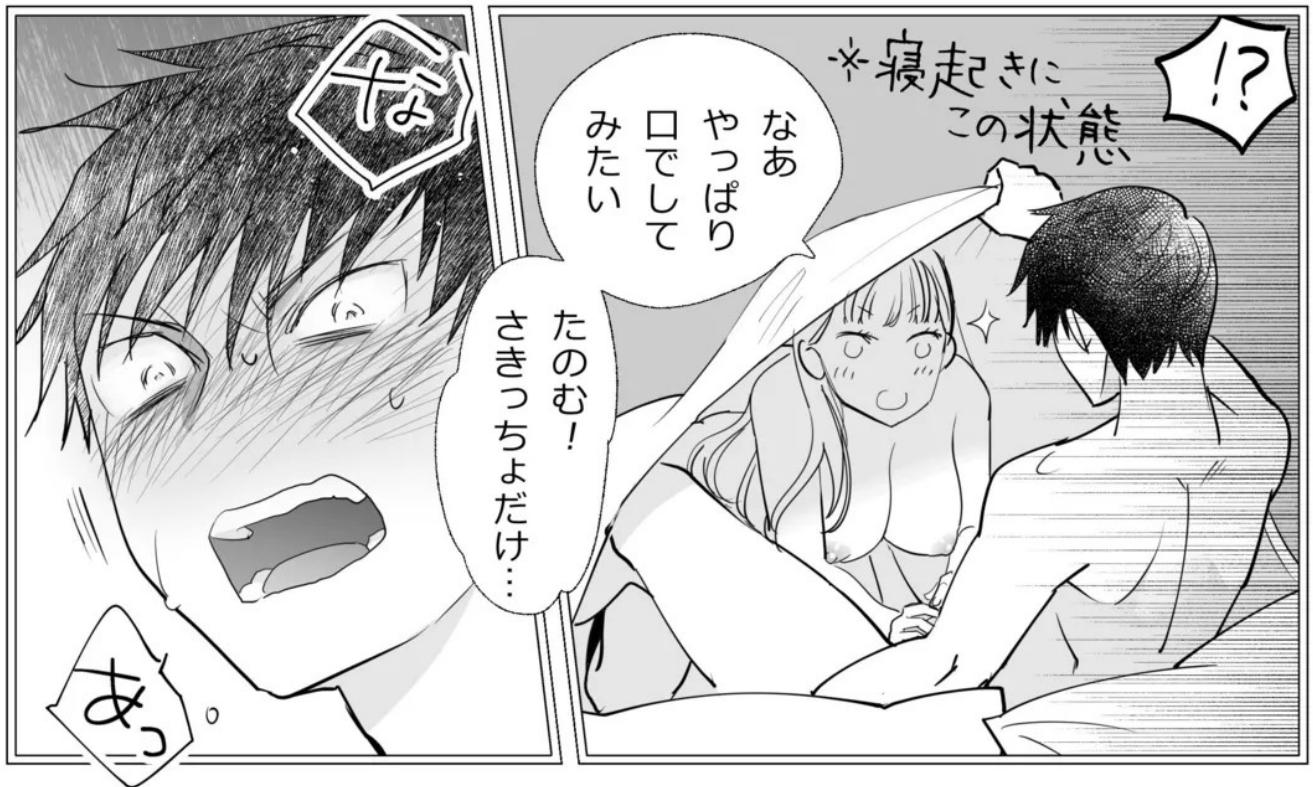
付き
合わせて
ごめん…

通常の
朝鍛錬は
ここまで
しない…

いや
当然の報い
なので…

明け方の声を
聞かれたかな…

ぐた…



!?
*寝起きに
この状態

なあ
やっぱり
口でして
みたい

たのむ!
さきつちよだけ…

な

あ



いい加減に
しなさいッ

ハハハ…



おじいさま →

それで
この程度で
済んだなら
よかった

昼食も
持たせて
くれたし

はは…
そうだな



ゆっくり
帰ろう

行きはこの辺り
景色を見る余裕は
なかったから



こちらの実家へ
行くときは



自宅で共に過ごす
一日を確保したい



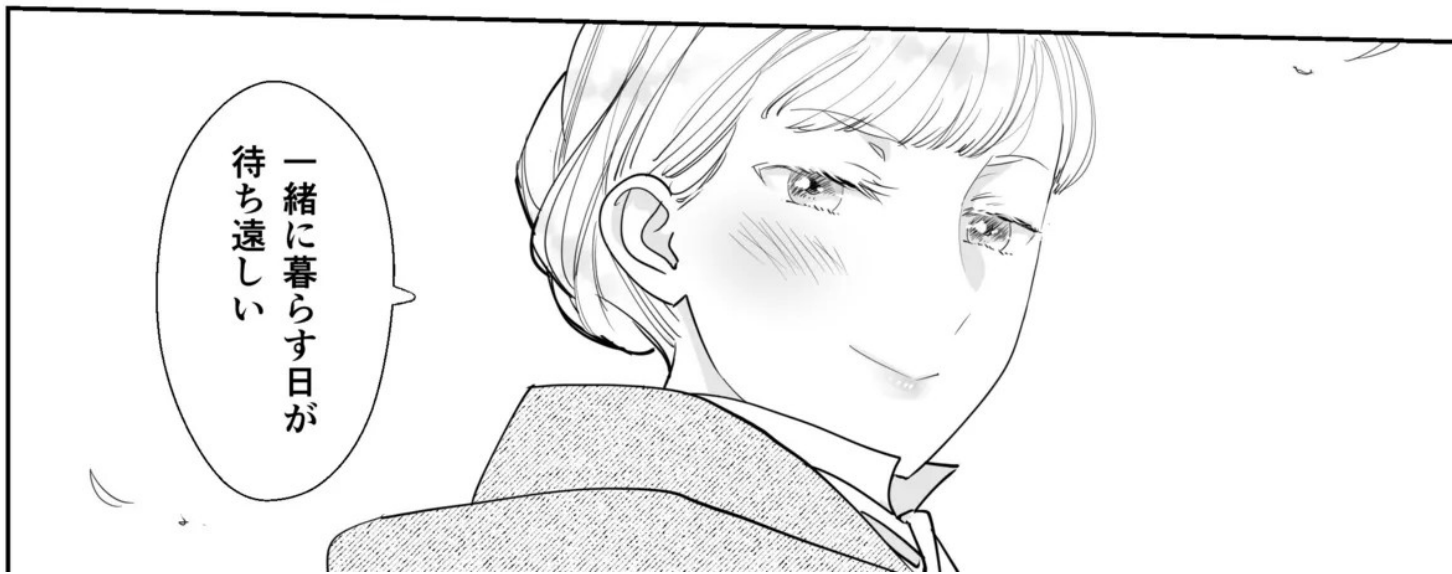
少し強行でも
日帰りをして
翌日休める
ようにしよう



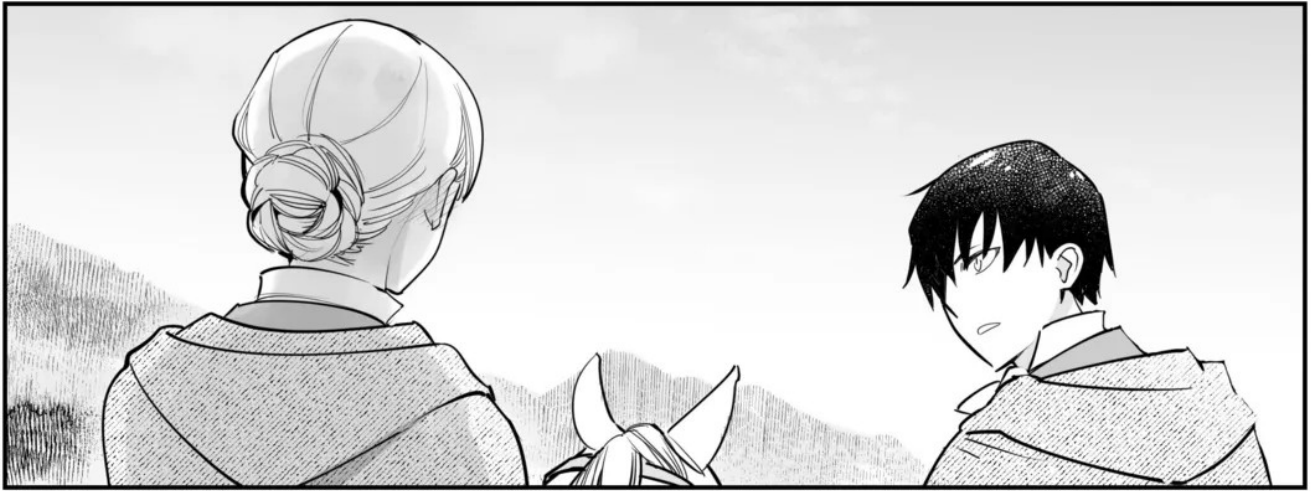
わが補佐は
頼もしいな

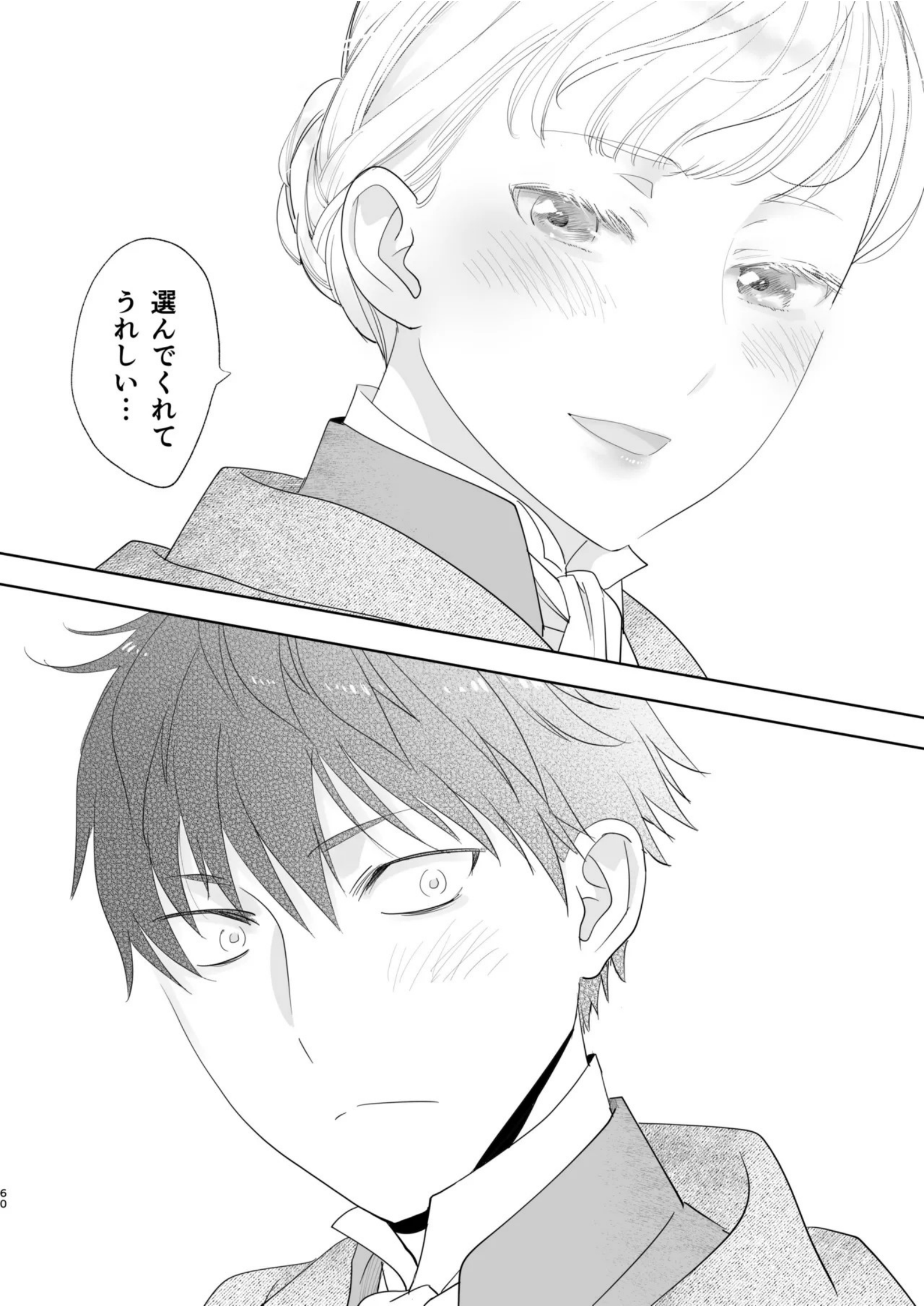
ほめ

早めに調整する

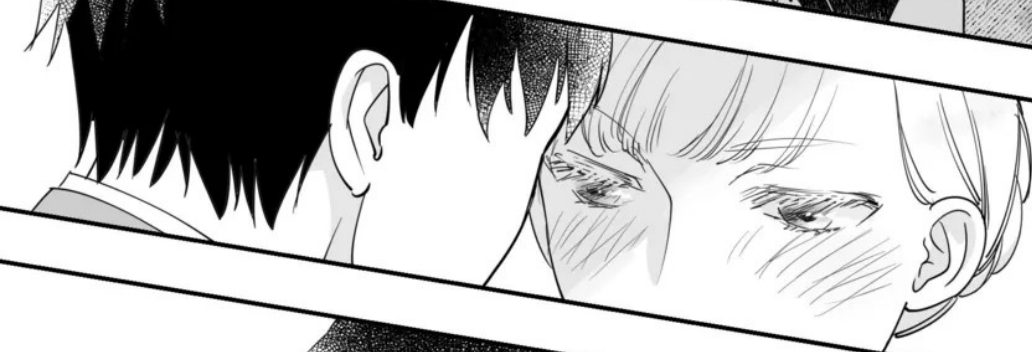


一緒に暮らす日が
待ち遠しい

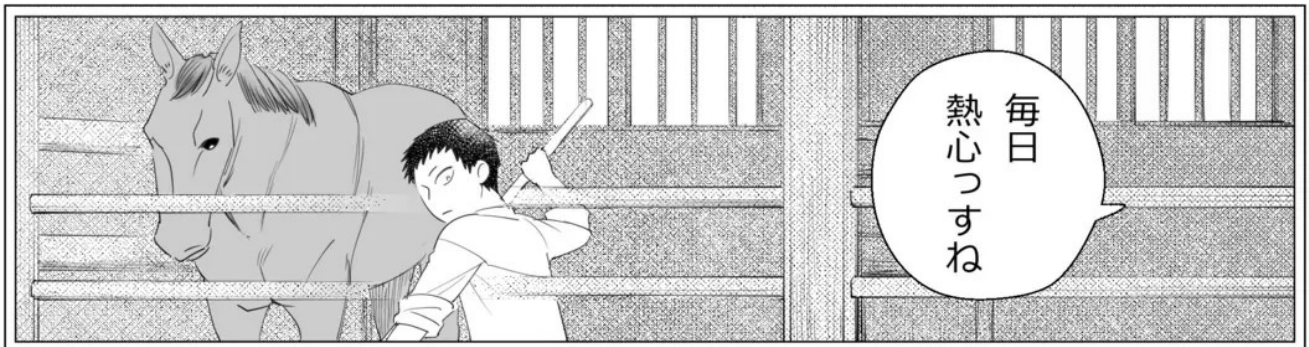
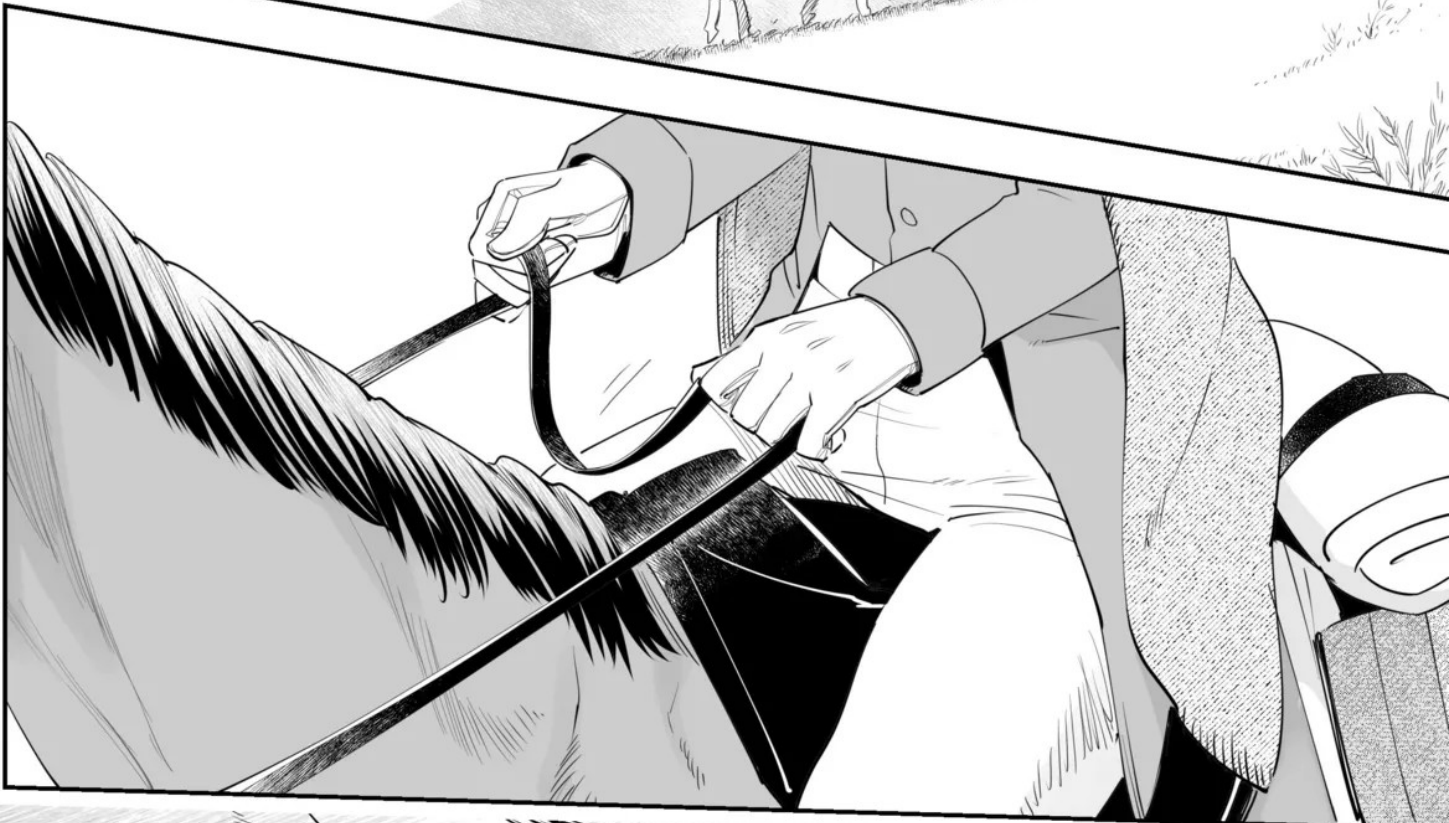




選んでくれて
うれしい…



少し
駈けようか





もしも
並んで走れたら

景色が変わると
思ったんだ



ドまじめ初心者カップル二戦目でした。
体力+騎乗能力の高い騎士カップル、連戦にも長期戦にも耐えうる。
ふたりの名前はまたも聞こえずに終わりましたが
見守ってくださいまして有難うございました。

描くのに時間がかかってのんびり発表ですが
ふたりのお話は小ネタがいくつもあるので
そのうちwebに上げたいなあと思います。
よかったらぜひ。

『絶対知られたくない 2』

山吹しろと(Rosa_ceae)202201

✉ yamabukishiro@gmail.com



<<< pixiv
69910322
ci-en >>>
10763



無断転載禁止

Repost is prohibited.



まさか自分がこうなるとは
知らなかった…



隊長補佐



隊長

隊長への重めの片思いから一転両思い。
もちろんやりたいしそれ以上に
たくさんキッスしたい補佐。
一方で常に先を行く隊長の考えは…？
ドまじめ騎士男女がいちゃついているお話。

気が付いたら
セックスしていた！



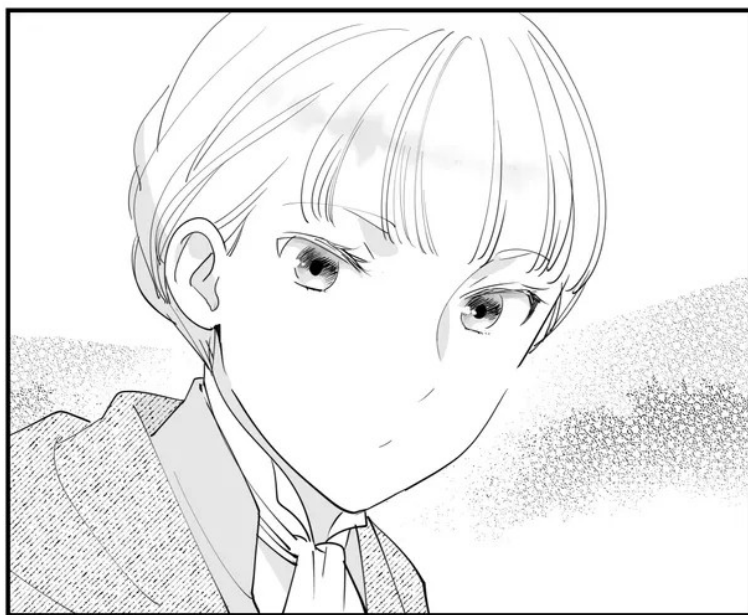


送り狼になったことは
容易に想像できる

自分の
部屋に

戻りたく
ない

いや



俺のせいだし



酔っ払って
君を困らせた？

…少し



君は
叶えてくれた
わけだ

これだけ
満たされて
いるんだから



おしまい







◆後日談◆
補佐の実家編







き
決めちゃった
の……？



もし
わたしが……



すまない
誤解させた……
私にはすでに

心に決めた
ひとがいる



その人より
先に会っていたら
けっこうんして
くれた？

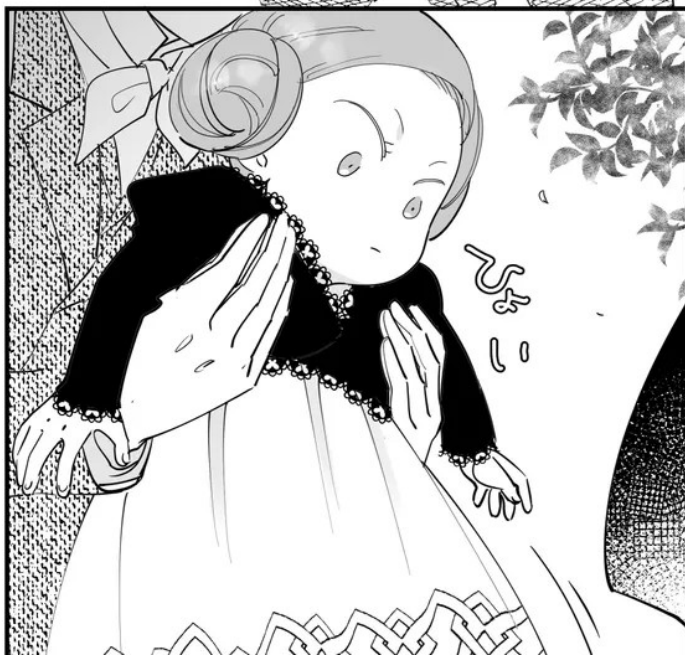
もしもなんて
考えられないほど

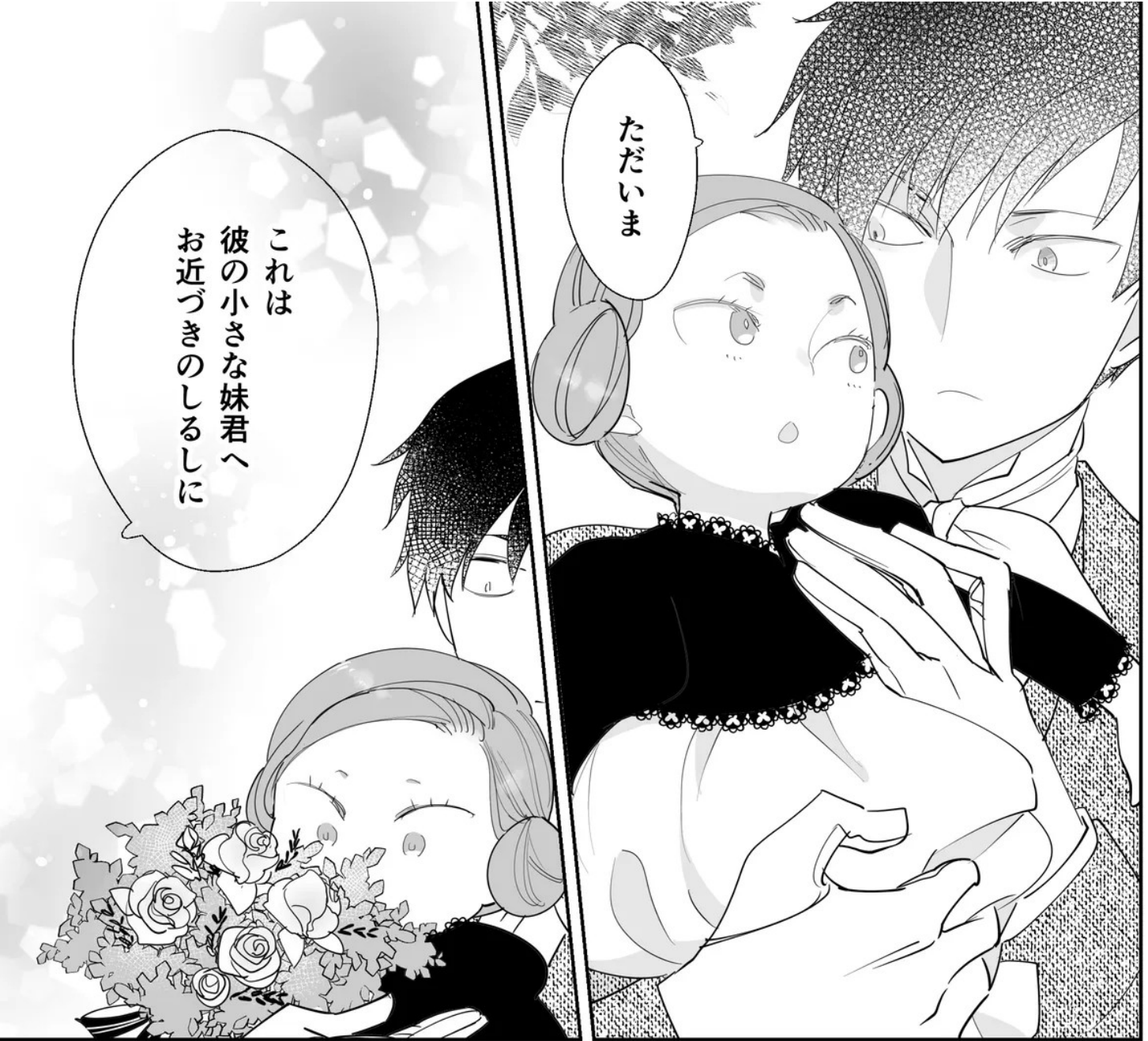
彼と過ごした
日々で得た
多くのものが

私の心の
支えだから

まあ

よい
思い出が
いっぱい
あるのね





ただいま

これは
彼の小さな妹君へ
お近づきのしるしに



もう
してる
二人とも
隊服で来い
なんて

では
のちほど



兄さん
ここは
いいから
もう行って

母さんが
今にも
暴走しそう

騒がしい家で
すまない

にぎやかで
楽しいよ





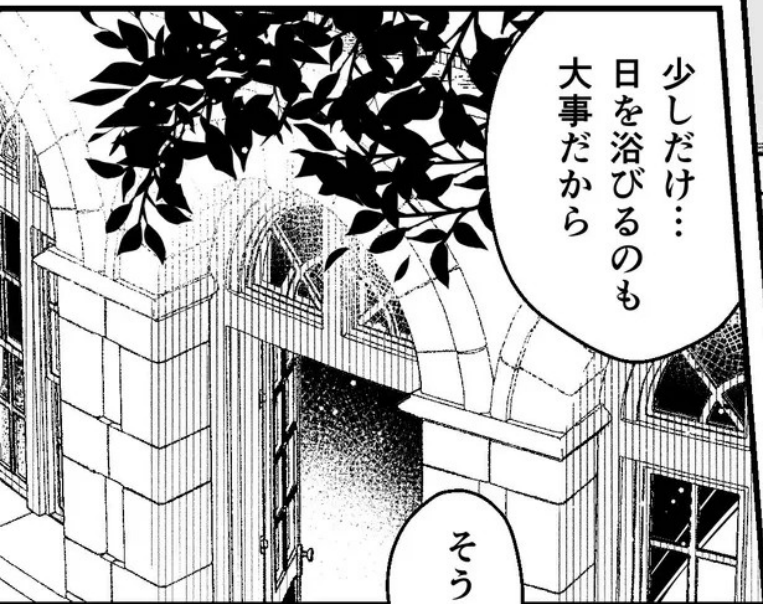
今日のこと
も
きっと

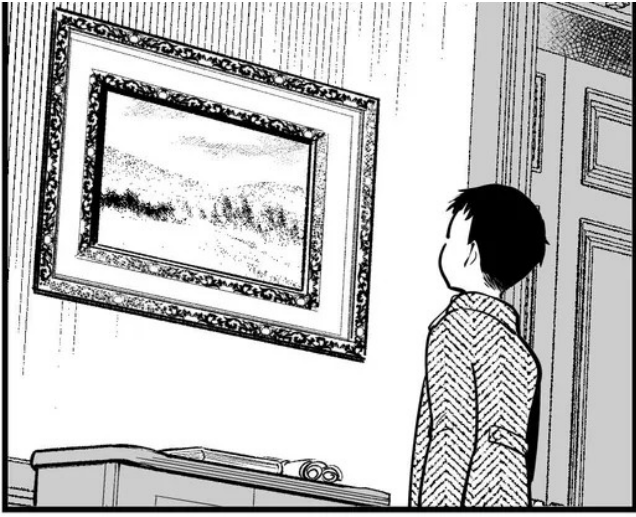


よい思い出に
なるだろうな

おしまい







早く訓練に
戻りたい

座学だけだと
体がなまる…



見慣れた
景色だ

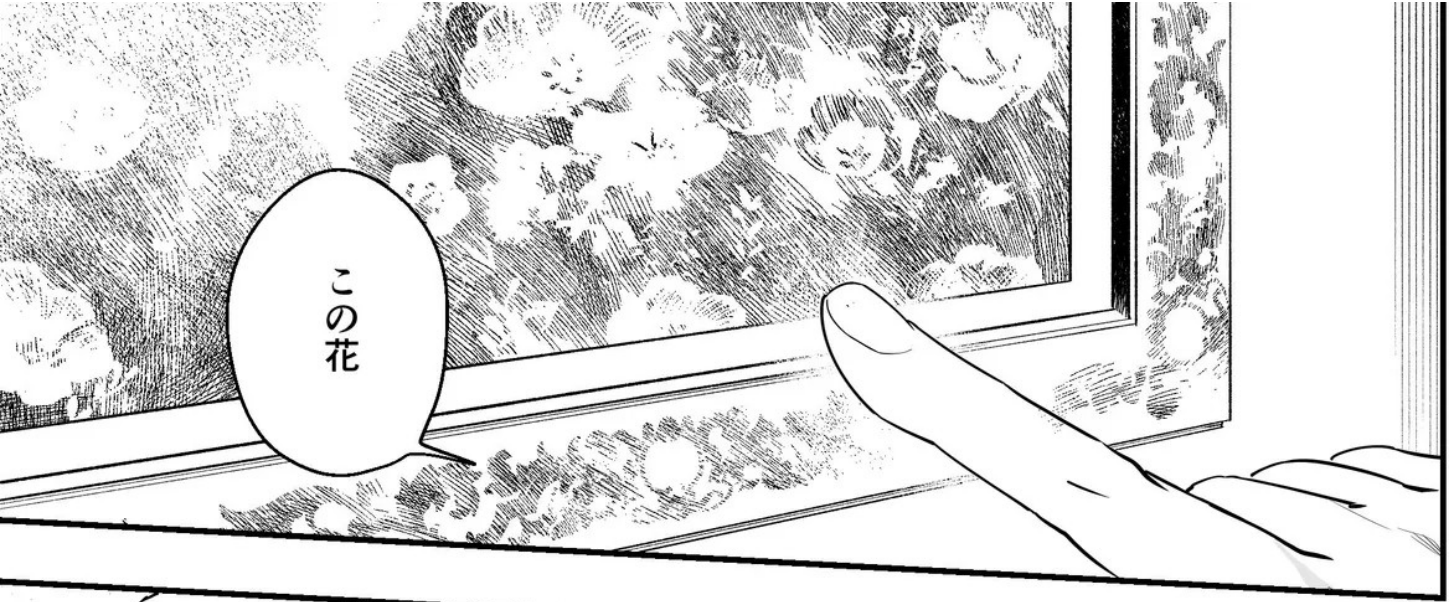
実家の領地を
描いたものだよ

先日
祖父母が
送ってきて…



小さな枠に
収まって

ひどく
遠く感じる



この花



暖かくなると
このあたりの
公園でも見かける

日差しも
柔らかいから
春の景色かな



遠くの緑まで
あざやかだ

この街より
ずっと空気も
澄んでいるんだ
ろうな


…うん



うん

私が春の
生まれだから
この季節の絵を

そうか




この先に
林道があつて


いつも春は
巣立ちたての鳥が
にぎやかで

高らかに
鳴くけど

へたくそで

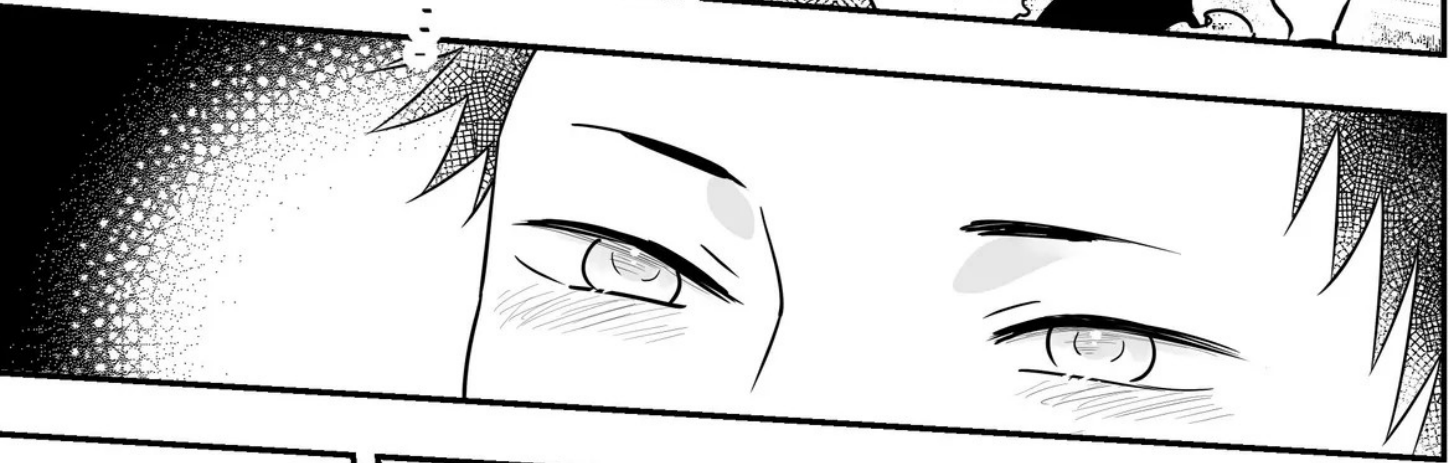
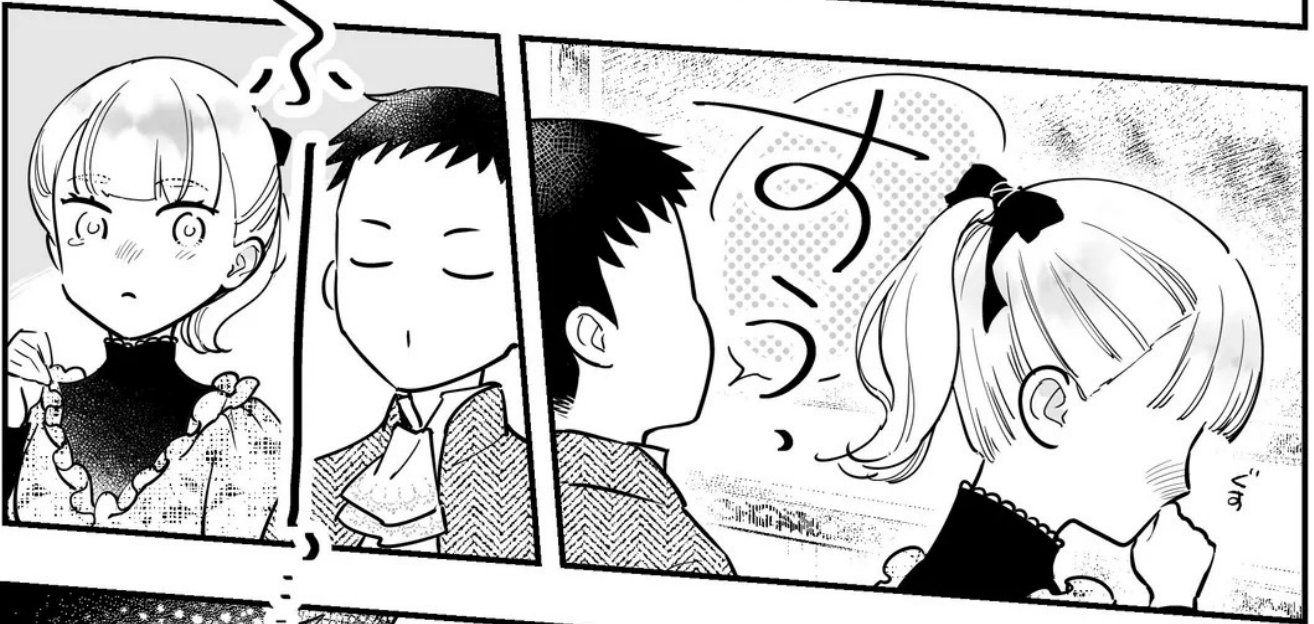
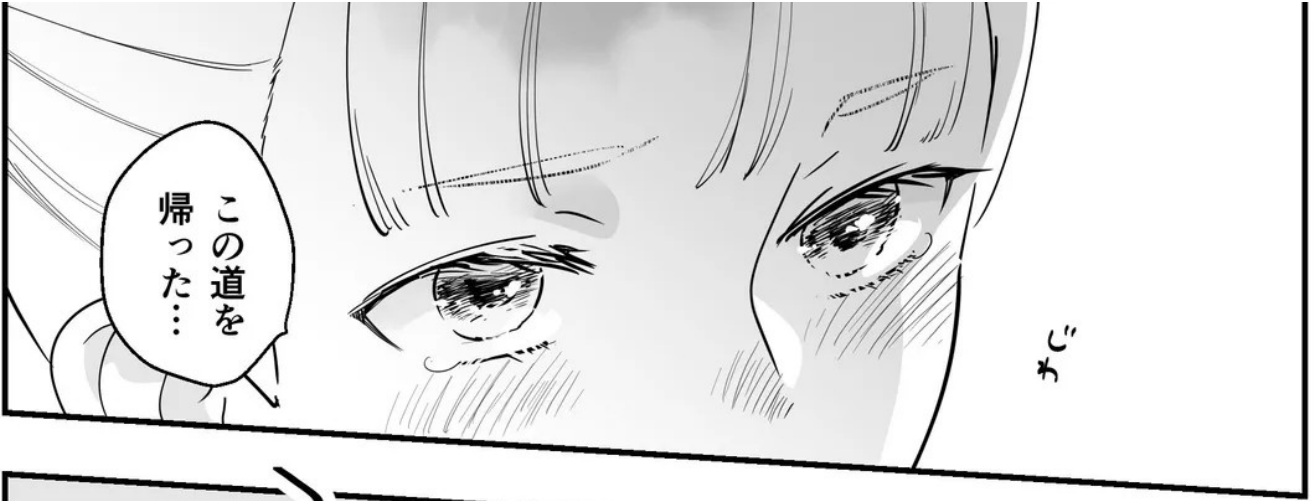


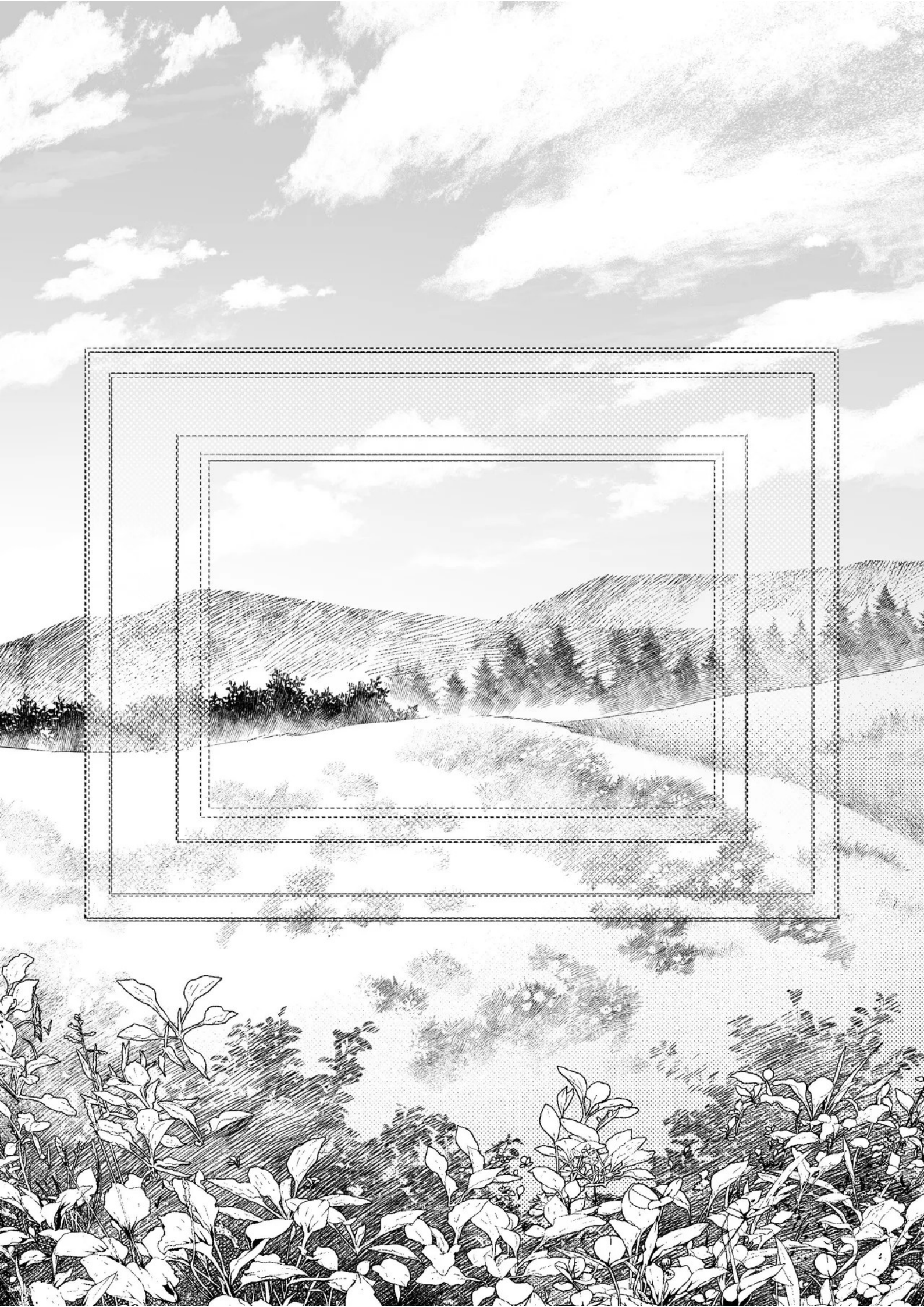
そこを抜けて
南に向かうと

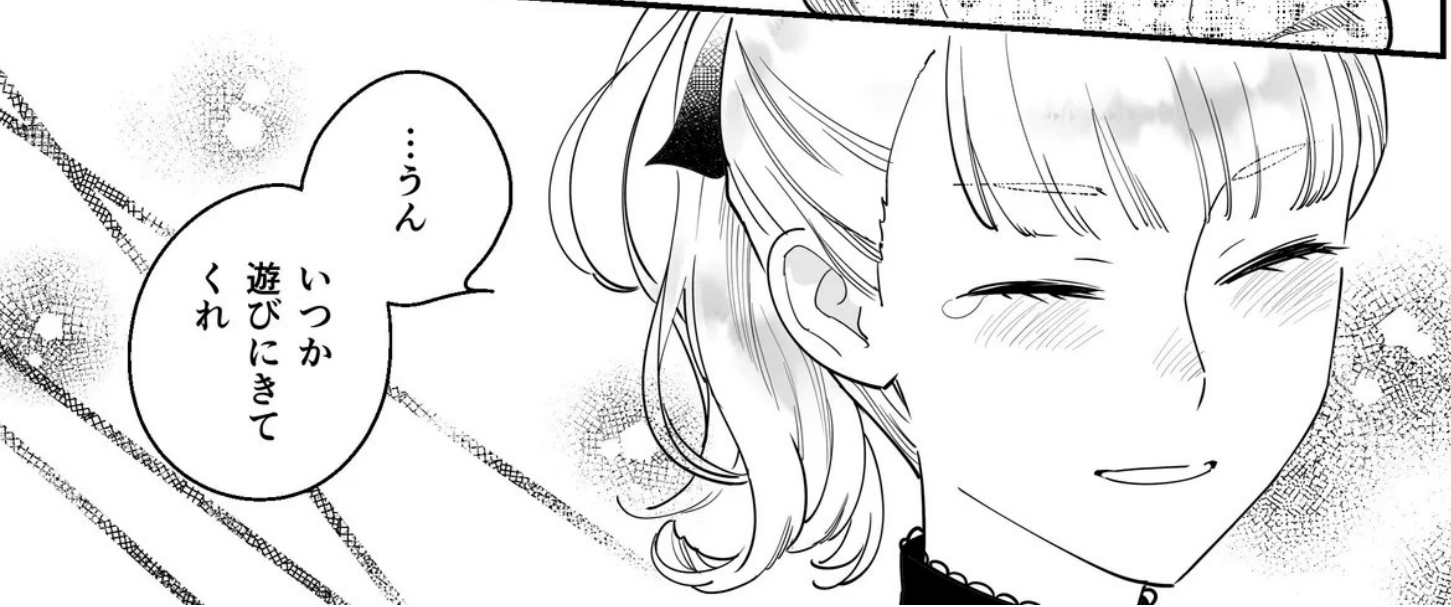
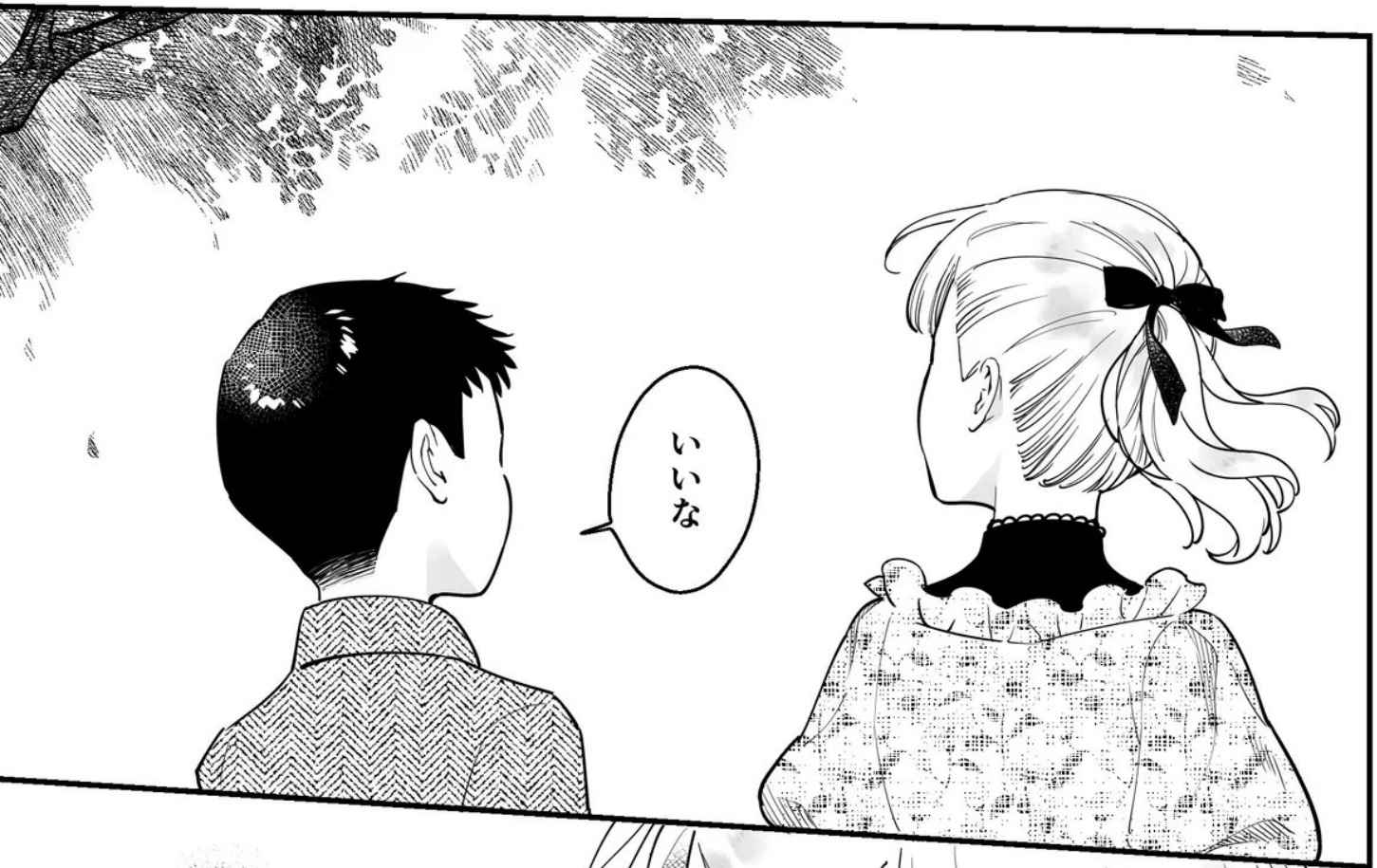
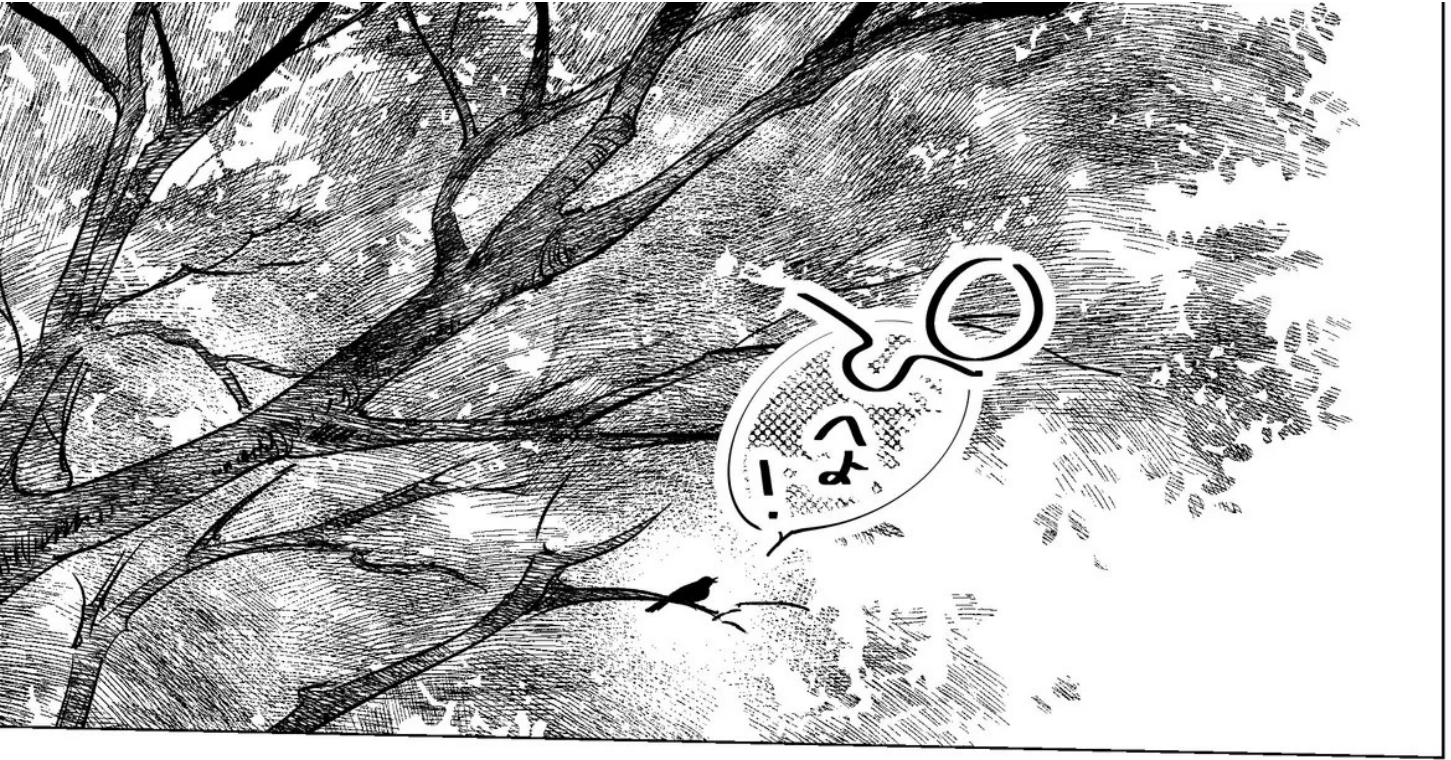


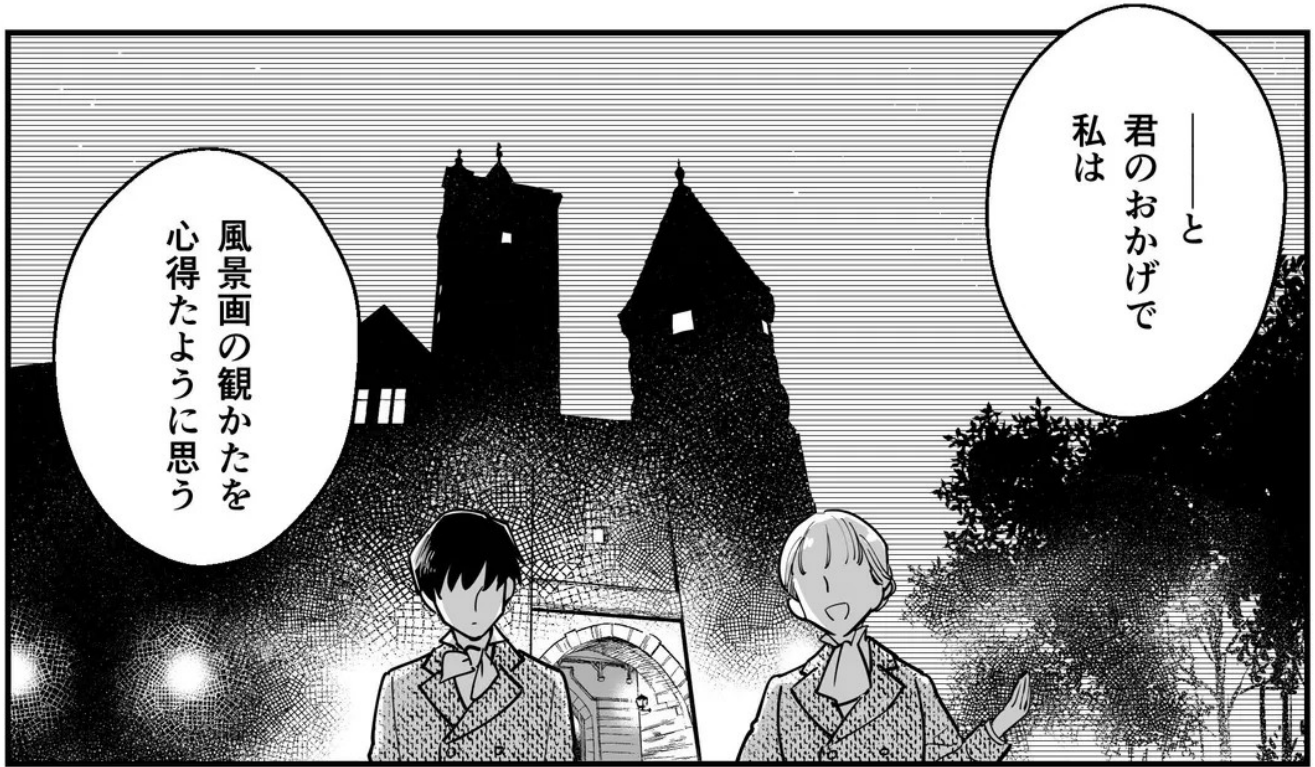
花の群生する
丘があつて

祖母のために
摘んでから










——と
君のおかげで
私は

風景画の観かたを
心得たように思う



俺は町から
あまり出ないから

勝手に
思い馳せて
楽しんでるだけ



そうして
豊かになる心を
教えてくれた

それを隣で
分かち合う

喜びも

なあ



新しい絵を
手に入れたんだ



うちに寄って
一緒に見ないか？